

取扱説明書

# サイネージ モニター

このたびはLGサイネージモニター製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。  
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

42LS75A 42LS73B

49LS75A 49LS73B

55LS75A 55LS73B

# 目次

## 3 ライセンス

---

## 4 設置する

---

- 4 付属品を確認する
- 5 オプションの付属品
- 7 各部の名称
- 8 スタンドを取り付ける
- 8 スピーカーを取り付ける
- 9 IRおよび光センサーの接続
- 9 ポートレイトレイアウト
- 10 OPSの接続
- 12 LGロゴのブラケットの取り付けと取り外し
- 13 壁に取り付ける

## 15 リモコンを使用する

---

## 17 接続

---

- 17 PCへの接続
- 18 外部機器接続
- 20 デイジーチェーンでのモニター接続
- 21 - [マルチディスプレイモード]機能を使用する
- 22 入力切換

## 22 その他の操作

---

- 22 マイメディアを使用する
- 22 - USB機器を接続する
- 24 - マイメディアでサポートされるファイル
- 27 - ビデオの視聴
- 29 - 写真の表示
- 29 - 音楽の再生
- 30 - 設定
- 31 SuperSignコンテンツ
- 31 情報

- 31 ファイルマネージャー
- 32 Picture IDを利用する

## 33 詳細設定

---

- 33 メインメニューの設定
- 33 - クイック設定
- 34 - 映像の設定
- 38 - 音声の設定
- 39 - ネットワーク設定
- 41 - 機器設定

## 43 困ったとき

---

## 46 仕様

---

## 56 IRコード

---

## 58 複数のモニターを制御するには

---

- 58 ケーブルの接続
- 58 RS-232C構成
- 58 通信パラメーター
- 59 コマンドリファレンスリスト
- 61 送受信プロトコル

# ライセンス

サポートされるライセンスの種類は、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、[www.lg.com/jp](http://www.lg.com/jp) をご参照ください。



HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。



このDivX Certified®機器は、DivX®ビデオを再生できることを保証する厳格なテストに合格しています。購入したDivXムービーを再生するには、まず [vod.divx.com](http://vod.divx.com) で機器を登録してください。登録コードは、機器のセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。

プレミアム コンテンツを含め、HD 1080pまでのDivX®ビデオを再生できる、DivX Certified®を取得済みです。

DivX®, DivX Certified®, および関連ロゴは、DivX, LLCの商標であり、ライセンス供与に従って使用されます。

次の米国特許の1つまたは複数によって保護されています：7,295,673; 7,460,668; 7,515,710; 8,656,183; 8,731,369; RE45,052.



Dolby Laboratoriesからのライセンスに基づいて製造されています。Dolby およびダブルDのロゴはDolby Laboratoriesの商標です。



DTSの特許に関しては、<http://patents.dts.com> をご覧ください。DTS Licensing Limitedからのライセンスに基づき製造されています。DTS、シンボル、およびDTSとシンボルの組み合わせはDTS社の登録商標です。また、DTS 2.0 ChannelはDTS社の登録商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved.



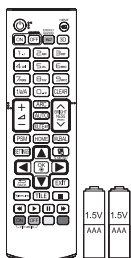
## ヒント

- 本製品を極端にほこりの多い場所で使用することにより発生する損傷は、保証の対象には含まれておりません。

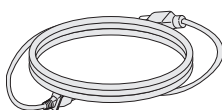
# 設置する

## 付属品を確認する

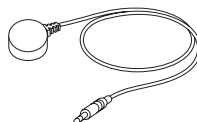
使用する前に以下のものが付属されているかをご確認ください。万が一、不足がありましたら、弊社カスタマーサポートセンターにご相談ください。



リモコン、  
単4形乾電池(2本)



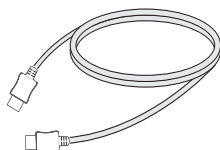
電源コード



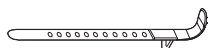
IRセンサー



CD (取扱説明書) /  
カード



HDMIケーブル



ケーブルタイ



### 注意

- 安全のためおよび本機の製品寿命を維持するため、推奨品以外は使用しないでください。
- 推奨品以外の使用により生じた損害・損傷は保証いたしかねます。

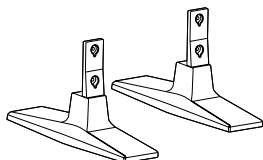


### ヒント

- 製品の付属品はモデルや地域によって異なります。
- 製品の仕様および取扱説明書の内容は、改良のため、予告なく変更される場合があります。
- SuperSignソフトウェアおよびマニュアル
  - LG ElectronicsのWebサイト (<http://www.lgcommercial.com/supersign>) にアクセスし、お使いのモデルに合った最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

## オプションの付属品

別売アクセサリの機種名やデザインは、改良のため、予告なく変更されることがあります。実際の製品および付属品の外見は、この図とは異なる場合があります。

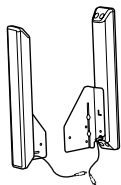


スタンド  
ST-200T



ネジ  
直径 4.0 mm x ピッチ 0.7 mm x  
長さ 10 mm (スプリングワッシャを含む)

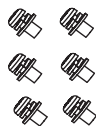
### スタンドキット



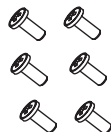
スピーカー  
SP-2100



ケーブルホルダー/  
結束バンド



ネジ  
直径 4.0 mm x ピッチ  
0.7 mm x 長さ 8 mm  
(スプリングワッシャ  
を含む)



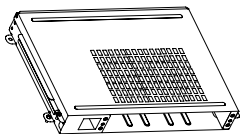
ネジ  
直径 4.0 mm x ピッ  
チ 1.6 mm x 長さ  
10 mm

### スピーカキット

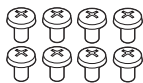


#### ヒント

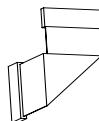
- 機種によっては、ケーブルホルダー/結束バンドは使用できないことがあります。
- 機種によっては、別売アクセサリに対応しないものもあります。



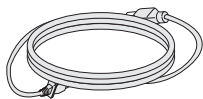
KT-OPSA



ネジ



ケーブル

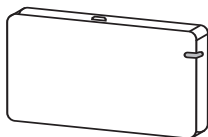


電源コード



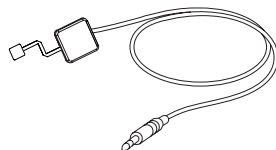
簡単セットアップガイド

OPSキット



AN-WF500

Wi-Fi Dongleキット



KT-SP0

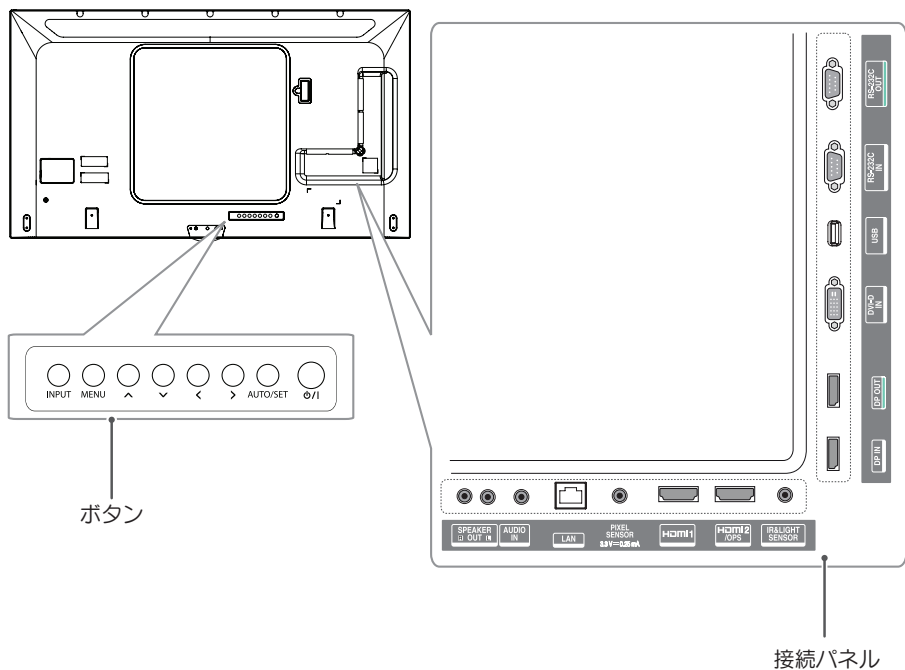
ピクセルセンサーキット



ヒント

- オプションの付属品は一部のモデルで使用可能です。必要な場合は、個別に購入してください。
- ピクセルセンサーは別売です。販売店から追加の付属品を購入できます。

## 各部の名称



ボタン	説明
INPUT	入力元を変更します。
MENU	メインメニューにアクセスしたり、入力を保存してメニューを終了したりします。
▲ ▼	上下へ調節します。
<>	左右へ移動します。
AUTO/SET	現在の信号およびモードを表示します。
⏻ / I	電源のオン/オフを切り替えます。

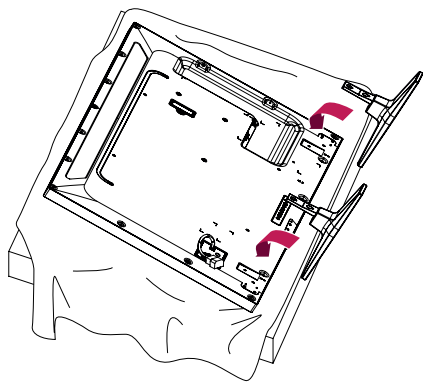
## スタンドを取り付ける

ここでは、別売アクセサリーのスタンドの取り付け方を説明します。

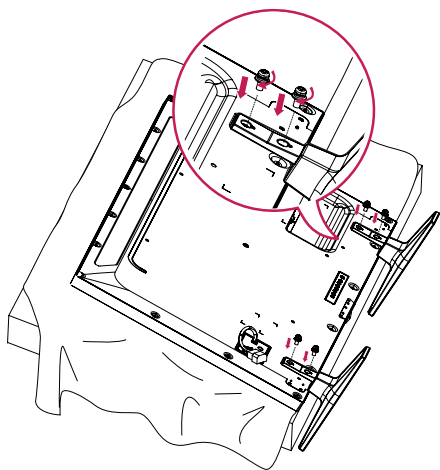
※機種によって取り付け方が異なることがあります。

- 特定のモデルの場合のみ。
- モデルによっては、イラストと異なる場合があります。

1 テーブルの上に梱包袋またはやわらかい布などを敷き、画面が下を向くようにして、その上に本機を置きます。



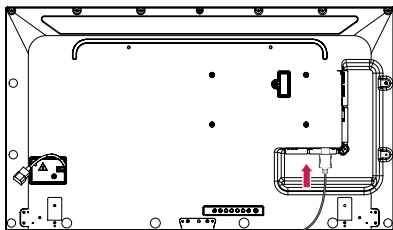
2 スタンドに付属するネジを使用して本機の背面にスタンドを固定します。



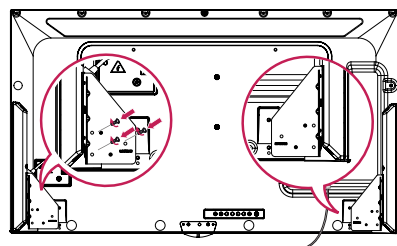
## スピーカーを取り付ける

- 特定のモデルの場合のみ。
- モデルによっては、イラストと異なる場合があります。

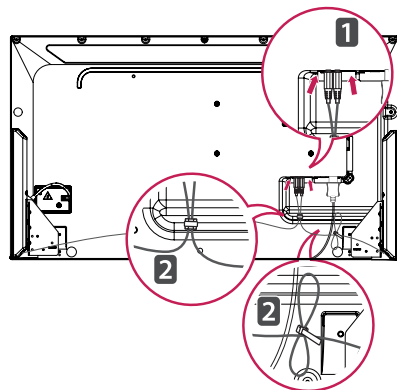
1 スピーカーを取り付ける前に、使用する入力信号ケーブルを接続します。



2 下図のように、ネジでスピーカーを取り付けます。次にスピーカーケーブルを接続します。



3 スピーカーを取り付けたら、ケーブルホルダーと結束バンドを使用してスピーカーケーブルをまとめます。



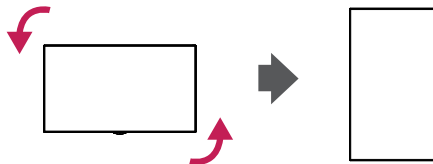


 ヒント

- 電源を切ってから、ケーブルを取り外してください。電源の入っている状態でスピーカーケーブルを接続または取り外すと、音が出されない場合があります。

## ポートレイアウト

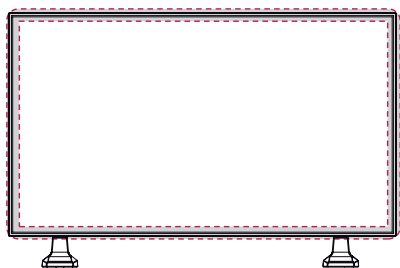
ポートレイアウトで設置する場合、モニターを正面から見て、反時計回りに90度回転させます。



## IRおよび光センサーの接続

製品にケーブルを接続すると、リモコン信号を受信するための機能が有効になります。IRおよび光センサーは磁気式です。使用するには、製品の前面に接続します。

[前面]



注意



注意

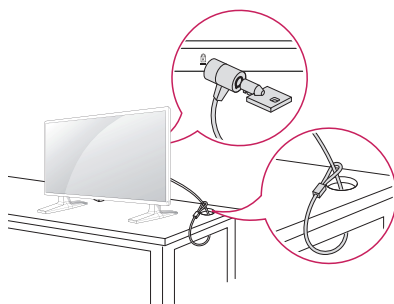
 ヒント

- 製品の正面にセンサーを設置しないと、IRセンサーや光センサーの信号強度が弱まります。

## ケンジントン (Kensington) ロック

(この機能を使用できないモデルもあります。) 本機には背面にケンジントンロック装着用の穴があります。ケンジントンロックの詳細内容はケンジントンロックに付属の取扱説明書をご参照いただくか、<http://www.kensington.com> にアクセスしてください。

下図のようにつないで、本機をテーブルに固定します。



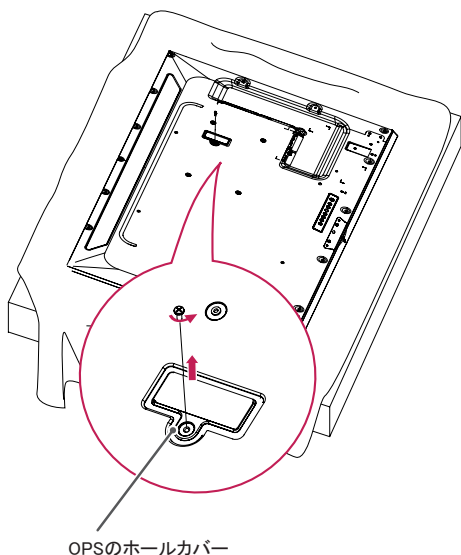
 ヒント

- Kensingtonセキュリティシステムはオプション部品です。追加の付属品は主要な家電量販店で購入できます。

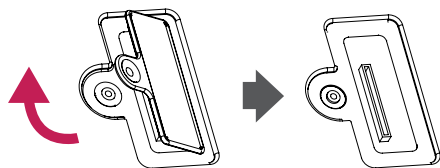
## OPSの接続

- 特定のモデルの場合のみ。
- モデルによっては、図が異なっていることがあります。

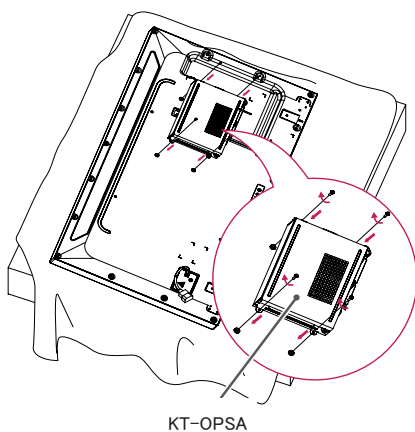
- 1 組み立てる前にやわらかい布を置き、その上に画面を下向きにしてモニターを置いて、ドライバーを使用してモニター背面のOPSのホールカバーからネジを取り外します。



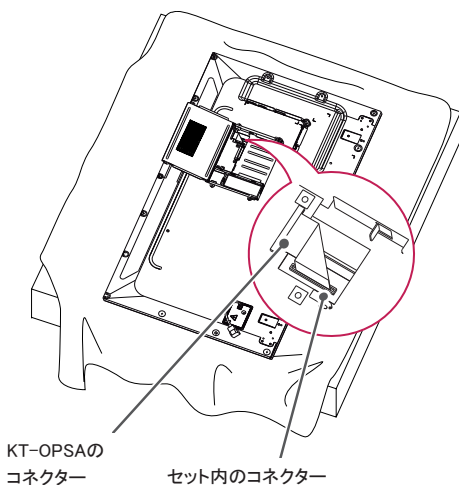
- 2 OPSのホールカバーの左側（丸い部分）を持ち上げます。カバーを取り外します。



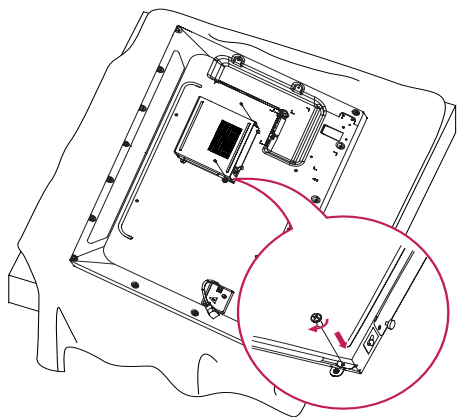
- 3 セット背面の4個のネジ穴に沿ってKT-OPSAを配置し、付属の4本のネジでセット背面に取り付けます。



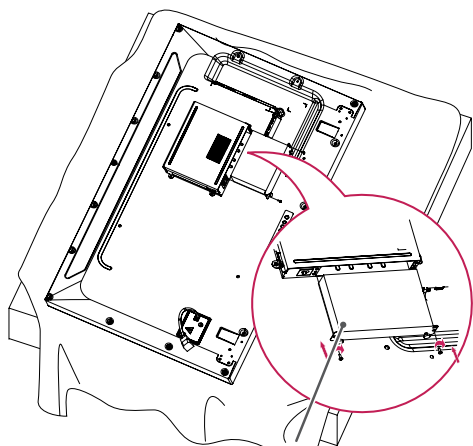
- 4 KT-OPSAの上部カバーを開け、セット内のコネクタとKT-OPSAのコネクタに付属のケーブルを接続します。



- 5 KT-OPSAの上部カバーを閉じ、付属の2本のネジで左右両側に締めます。



- 6 OPSプレイヤー（別売）をKT-OPSAの底部穴に挿入し、底部に付属の2本のネジを締めて取り付けを完了します。



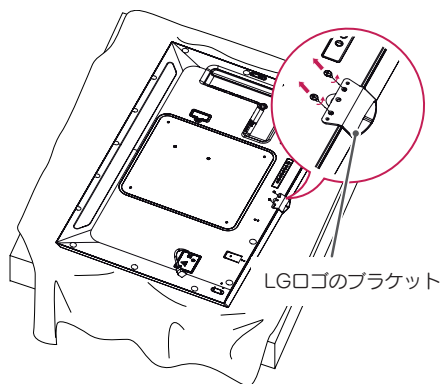
OPSプレイヤー

## LGロゴのブラケットの取り付けと取り外し

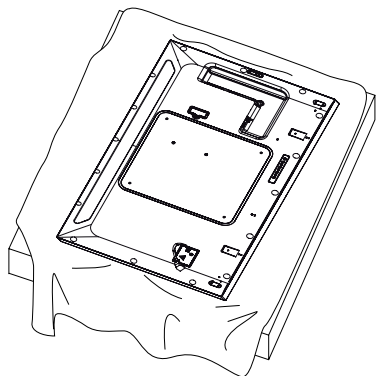
- 特定のモデルの場合のみ。
- モデルによっては、図が異なっていることがあります。

### LGロゴの取り外し

- 1 床にきれいな布を置き、その上に画面を下向きにしてモニターを置きます。ドライバーを使用してモニター背面底部にLGロゴのブラケットを締めている2本のネジを取り外します。

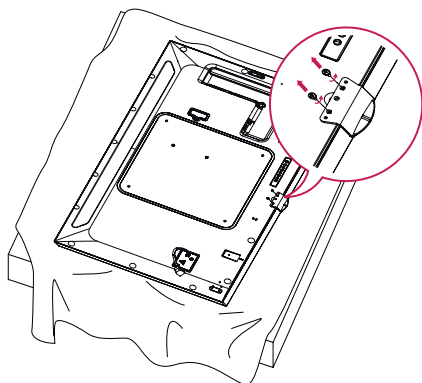


- 2 ネジを取り外した後、LGロゴを取り外します。再びLGロゴを取り付けるときは、逆の順番でこの手順に従います。

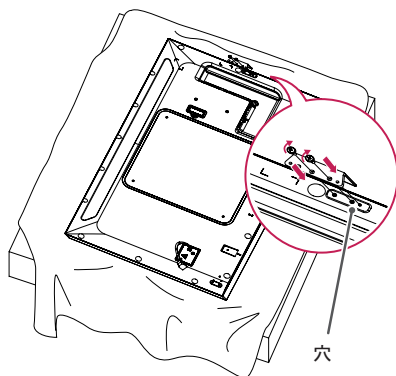


### 右側でのLGロゴの取り付け

- 1 床にきれいな布を置き、その上に画面を下向きにしてモニターを置きます。ドライバーを使用してモニター背面底部にLGロゴのブラケットを締めている2本のネジを取り外します。



- 2 ネジを取り外した後、LGロゴを取り外します。LGロゴのブラケットを右側の穴に配置し、2本のネジで取り付けます。

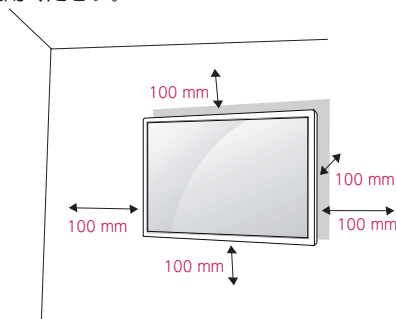


## 壁に取り付ける

使用時の発熱による本体の高温化を避けるため、

上下左右および壁から100 mm以上の空間を確保

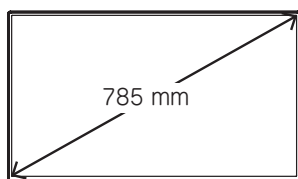
きる場所に設置してください。壁掛けにはVESA規格に適合する壁掛け金具(別売品)をご使用ください。



モニターを壁に取り付ける場合は、壁掛け用金具(別売)をモニターの背面に取り付けます。

壁掛け用金具がモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

- 1 VESA規格に適合したネジと壁掛け金具のみを使用してください。
- 2 規格より長いネジを使用すると、モニターの内蔵が破損するおそれがあります。
- 3 VESA規格以外のネジを使用すると、製品が破損し、モニターの落下の原因になるおそれがあります。LG Electronicsは、規格外のネジの使用に関する事故については責任を負いません。
- 4 下記のVESA規格に従ってください。
  - 785 mm 以上
  - \* 取り付けネジ：直径6.0 mm x ピッチ1.0 mm x 長さ12 mm



### ⚠ 注意

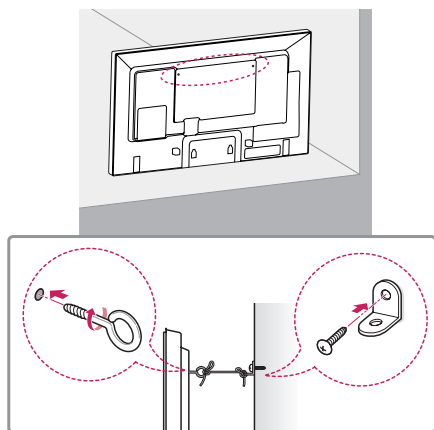
- 感電のおそれがありますので、本機を移動または設置する場合は、必ず電源コードを抜いてから行ってください。
- 本機を天井または傾きのある壁面に取り付けると、本機が落下し重大なけがを負う可能性があります。正規のLG壁掛けを使用し、販売店または資格のある業者に設置の支援を依頼してください。
- ネジを締め付けすぎないようにしてください。本機が損傷し、保証の対象外になる可能性があります。
- VESA規格に適合するネジおよび壁掛け金具を使用してください。使用方法の誤りまたは不適切なアクセサリーの使用が原因の破損やけがは、保証の対象にはなりません。

### ✔ ヒント

- 壁掛け金具製品には、設置のための取扱説明書および必要な部品が同梱されています。
- 壁掛け金具は別売品です。販売店から追加の付属品を購入できます。
- ネジの長さは壁掛け金具の種類によって異なります。適切な長さのネジを使用してください。
- 詳細については、壁掛け金具の取扱説明書などをご参照ください。

## 壁面へのモニターの固定（任意）

（モデルごとに異なります）



- 1 製品の背面に市販のアイボルトや固定金具を使用してモニターが安定するように固定します。

-アイボルトの位置にボルトが挿入されている場合は、ボルトを先に取り外します。

- 2 壁掛け金具をボルトで壁に取り付けます。壁掛け金具の位置を製品の背面のアイボルトの高さと並行にして取り付けます。
- 3 アイボルトと壁掛けブラケットを丈夫なひもでつなぎます。ひもが製品の平らな面と並行になるようにしてください。

### ! 注意

- お子様がモニターに登ったり、ぶら下がったりしないようにご注意ください。

### ✓ ヒント

- 製品をしっかり支えられる強度と大きさのある台またはキャビネットを使用してください。
- ブラケット、ボルト、およびひもは別売です。お近くのホームセンターや金物屋等でお求めください。
- イラストは一般的な設置例を表しています。実際の製品の外観とは異なる場合があります。

### ! 警告

- 十分安定した場所に設置してください。落下や転倒よりけがをする恐れがあります。特に小さなお子様がいる使用環境ではご注意ください。
- » 製品の製造元が推奨するキャビネットまたはスタンドを使用する。
- » 製品を安全に支えられる家具を使用する。
- » 製品を置く家具の端から製品がはみ出ないようにする。
- » 製品を背の高い家具（戸棚や本棚など）の上に置くときは、製品と家具の両方を必ず適切に固定する。
- » 家具の上に布などの物を敷いて製品を立てない。
- » お子様が調整ボタンに触れる際は、取扱方法を理解した成人の監督のもとで使用する。

# リモコンを使用する

この取扱説明書は、リモコンのボタンに基づいて記載しています。この項目をよくお読みいただき、正しい使用法でモニターをお使いください。

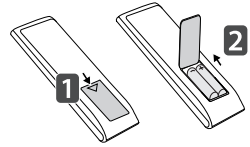
電池を交換するには、電池カバーを開け、1.5 Vの単四電池を⊕と⊖の方向をボックス内のラベルの表示に合わせて交換し、電池カバーを閉じます。

電池を取り外すには、取り付けと逆の手順を行います。図は、実際の付属品と異なる場合があります。



## 注意

- リモコンが故障するおそれがあるため、古い電池と新しい電池は一緒に使用しないでください。
- リモコンは、必ずモニターの受光部に向けて使用してください。



**⏻ (POWER(電源))**  
モニターの電源のオンとオフを切り替えます。

**MONITOR ON**  
複数のモニターを同時にオンにします。

**MONITOR OFF**  
複数のモニターを同時にオフにします。

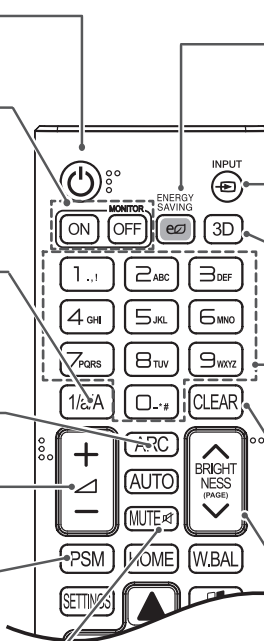
**1/a/Aボタン**  
文字、数字、記号の入力が必要なときに使います。  
(モデルによっては、サポートされていない場合があります。)

**ARC**  
縦横比モードを選択します。

**音量ボタン**  
このモデルは使用しません。

**PSM**  
映像モードを選択します。

**MUTE (ミュート)**  
音声をオフにします。



**ENERGY SAVING (e)**  
(省エネモード)  
画面の明るさを調整して、消費電力を抑えます。

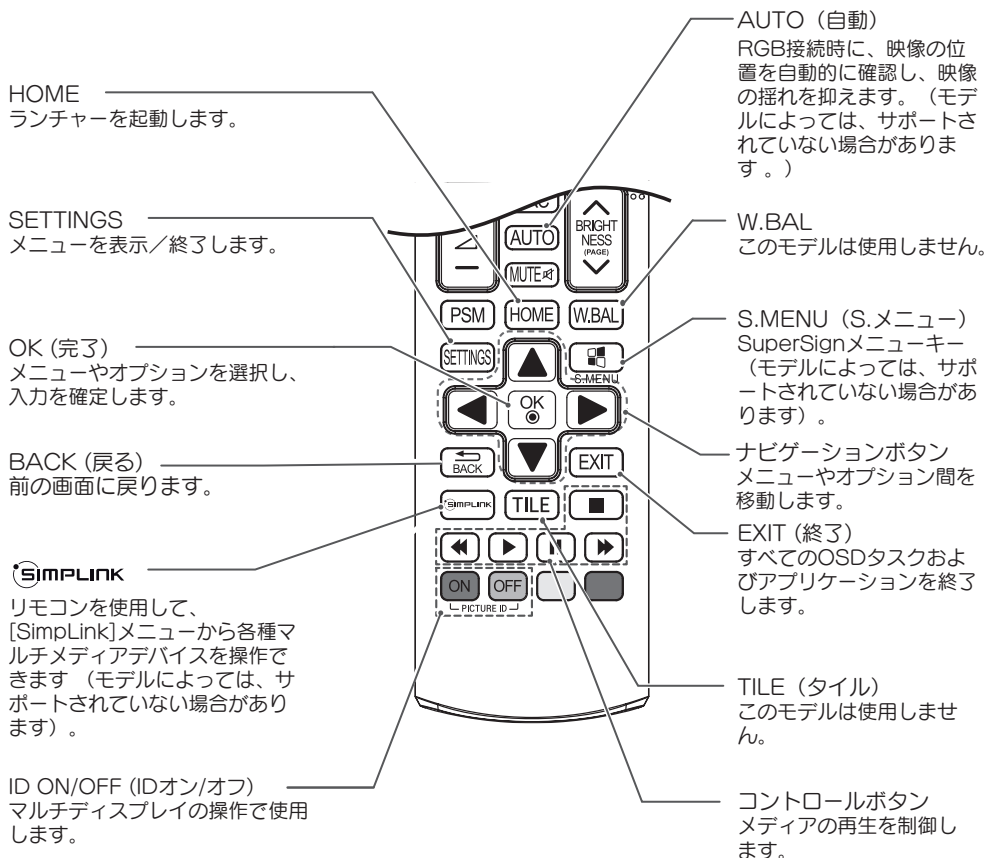
**INPUT (入力)**  
外部入力を切り替えます。

**3D**  
このモデルは使用しません。

**数字/アルファベット**  
設定に応じて数字またはアルファベットを入力します。(モデルによっては、サポートされていない場合があります。)

**CLEAR (クリア)**  
入力した文字を削除します。(モデルによっては、サポートされていない場合があります。)

**BRIGHTNESS**  
画面の明るさを調整します。このモデルでは使用しません。





# 接続

さまざまな外部デバイスをモニターのポートに接続できます。入力モードを変更し、接続する外部デバイスを選択します。

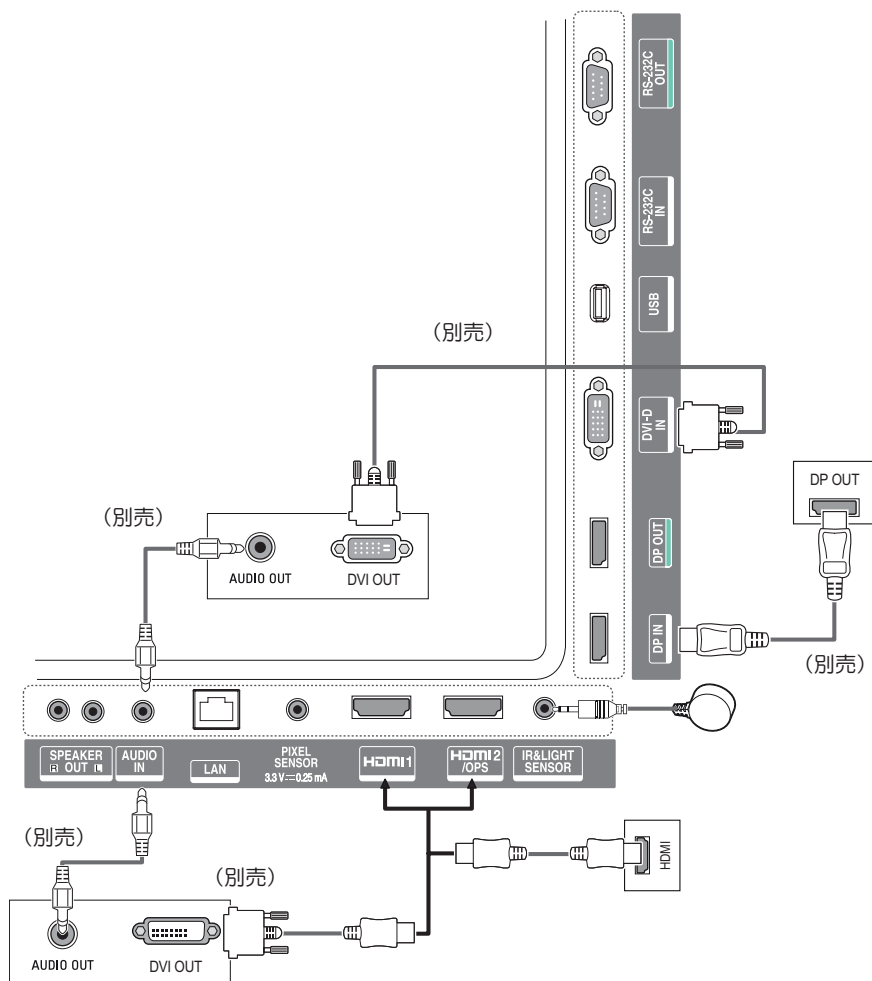
外部デバイスの接続の詳細については、各機器に付属の取扱説明書を参照してください。

## PCへの接続

図は、実際の付属品と異なる場合があります。一部のケーブルは別売です。

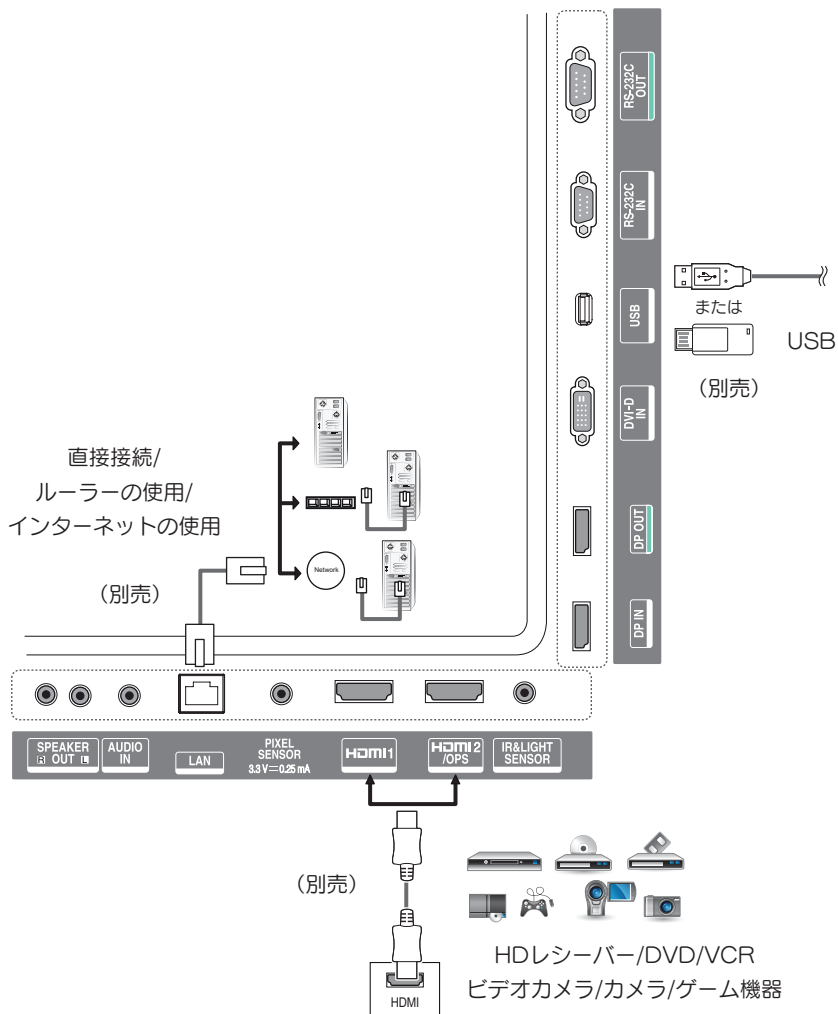
本機には、プラグアンドプレイ機能に対応しています。

\* プラグアンドプレイ：PCに機器を接続して電源を入れると、追加の設定や操作をしなくても、機器の電源が連動してオンになります。



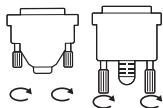
## 外部機器接続

HDレシーバー、DVDまたはVCRプレーヤーをモニターに接続し、適切な入力モードを選択します。図は、実際の付属品と異なる場合があります。一部のケーブルは別売です。最適な映像と音声の品質を得るために、HDMIケーブルを使用して外部デバイスとモニターを接続することをお勧めします。



 ヒント

- HDMI接続をすると、より高画質の映像を楽しむことができます。
- 製品の標準仕様に準拠するため、DVIケーブルなどのフェライトコア付きのシールドされたインターフェイスケーブルを使用してください。
- 本機が冷えた状態で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは故障ではありません。通電し、温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されることがありますが、これは製品不良ではありません。
- 最新の High Speed HDMI®/TM ケーブルを使用してください。
- HDMIロゴの付いた規格が保証されたHDMIケーブルをご使用ください。保証されていないHDMIケーブルやハイスピードでない標準HDMIケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- 次のHDMIケーブルのご使用を推奨します。
  - ハイスピードHDMI®/TM ケーブル、
  - ハイスピードHDMI®/TM ケーブル（イーサネット対応）
- HDMI接続時に音声が聞こえない場合は、PC側の音声設定をご確認ください。一部のPCでは、HDMI出力時の音声出力を手動で変更する必要があります。
- HDMI-PCモードを使用する場合は、PC/DTVをPCモードに設定する必要があります。
- HDMIでのPC接続時は、画面の解像度や画面サイズが正常に見えないことがあります。
- 電源ケーブルが取り外されている状態で接続してください。
- 本機にゲーム機器など、特殊な端子形状の外部機器を接続する場合は、その機器に付属されたケーブルをご利用ください。
- オプションの付属品として提供されているスピーカーを使用することをお勧めします。
- High Speed HDMI®/TMケーブルは、最高1080p以上のHD信号を送信します。

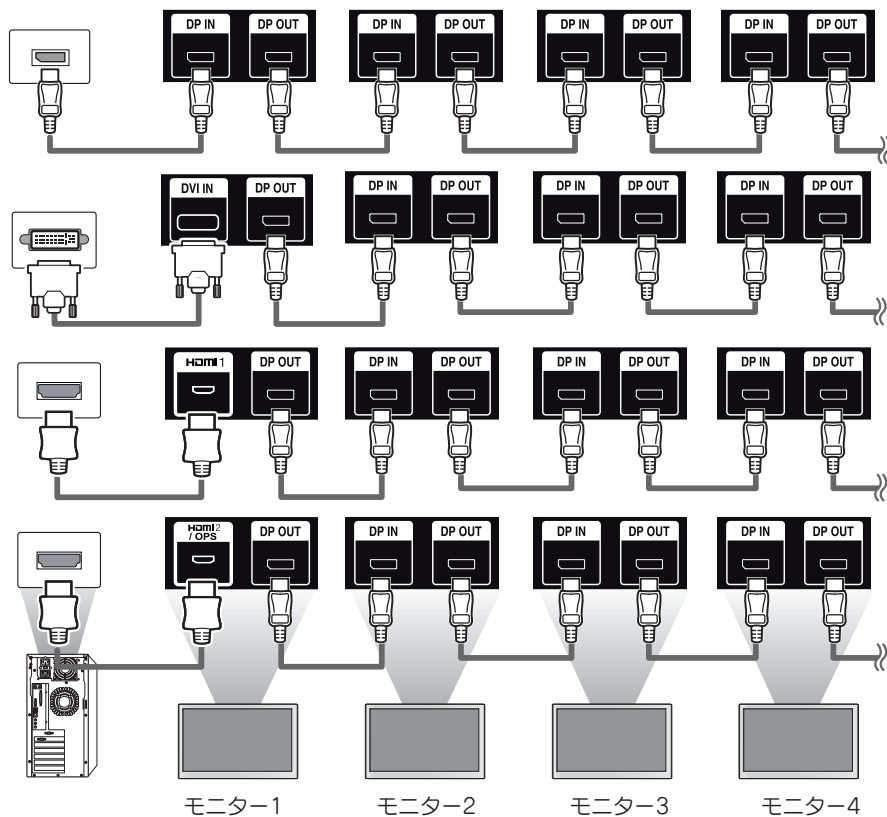
 注意


- 信号入力ケーブルを接続し、ネジを時計回りに回して締め付けます。
- 画面を指で長時間押し続けしないでください。一時的に画面が乱れることがあります。
- 映像の焼き付きを防ぐため、画面に同じ画像を長時間表示しないでください。スクリーンセーバーのご使用をおすすめします。
- モニターの近くにあるワイヤレス通信デバイスが映像に影響を及ぼしている場合があります。

## デジチェーンでのモニター接続

異なる製品を相互に接続して使用するには、信号入力ケーブル（DisplayPortケーブル）の一方の端をモニター1のDisplayPort出力コネクタに接続し、他方の端をもう1つの製品のDisplayPort入力コネクタに接続します。

\* DisplayPortケーブル - DisplayPort1.1a（SST）やDisplayPort1.2（MST）以上に認証されているDisplayPortケーブルを使用します。



### ✓ ヒント

- 通常は、信号が安定していて、ケーブル損失がなければ、DisplayPort出力ポートにはモニターを100台まで接続できます（ただし、推奨解像度の場合）。これ以上のモニターを接続する場合は、ブースターを使用してください。
- DVI-DまたはHDMIを使用してタイルモードを設定すると、HDCP暗号化コンテンツを視聴できません。
- 製品とPC間の信号ケーブルが長すぎる場合は、必ずブースターまたは光学ケーブルを使用してください。

## [マルチディスプレイモード]機能を使用する

[Multi Display Mode (マルチディスプレイモード)]は、DisplayPortにより受信される映像信号を、DisplayPort出力経路でシングルモード (SST : Single Stream Transport) またはマルチモード (MST : Multi Stream Transport) のいずれかで表示する機能です。

- この機能は[Installation Menu (インストールメニュー)]で設定できます (詳細についてはインストールメニュー) マニュアルを参照してください)。
- [オン]の場合は、各ディスプレイの映像がマルチモードで表示されます。
- [オフ]の場合は、各ディスプレイの映像がシングルモードで表示されます。
- マルチモードは、DisplayPort 1.2をサポートするPCで使用可能です。
- マルチモードで接続できるモニターは4台までです (ただし、推奨解像度の場合)。
- この機能を使用すると、ビデオカードによってはモニターが正しく動作しない可能性があります。画面出力を安定させるため、使用しない時はこの機能をオフにしてからPCを再起動してください。
- DisplayPortデジタイゼーションでDVI-DまたはHDMI入力を使用する場合は、[Multi Display mode function (マルチディスプレイモード機能)]をオフに設定してください。

## 入力切換

リモコン (HOME) → 

入力	説明
HDMI 1	
HDMI2/ OPS	PC、DVDプレーヤー、デジタルセットトップボックス、およびその他の高解像度機器でコンテンツを視聴できます。
DisplayPort	
DVI-D	



### 注意

- OPSキットをHDMI2/OPSポートに接続する場合、HDMI2/OPSポートがOPSポートとして使用されます。

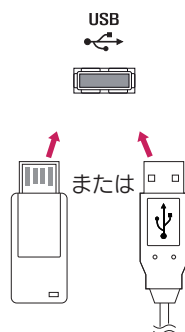
## その他の操作

### マイメディアを使用する

#### USB機器を接続する

USBフラッシュメモリー、外付けハードディスクなどのUSBストレージデバイスを本機に接続し、マルチメディア機能を使用します。

次の図のように、USBフラッシュメモリーまたはUSBメモリーカードリーダーをディスプレイに接続します。



### 注意

- [マイメディア]メニューを表示している間は、画面をオフにしたり、USBストレージデバイスを取り外さないでください。USBデバイスや保存されたファイルの破損に繋がる恐れがあります。
- USBストレージデバイスに保存されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いません。あらかじめバックアップを行ってください。

## USBストレージデバイスの使用のヒント

- 本機は、USBストレージデバイス以外のUSB機器は認識されません。
- USBデバイスはUSBハブ経由で接続すると効率的に動作しません。
- 自動認識プログラムを使用しているUSBストレージデバイスは認識されないことがあります。
- 製造または販売メーカー独自のドライバーを使用しているUSBストレージデバイスは認識されないことがあります。
- USBストレージデバイスの認識速度は、デバイスごとに異なります。
- 接続したUSBデバイスの動作中に、ディスプレイの電源をオフにしたり、USBデバイスを取り外したりしないでください。動作中にデバイスが取り外された場合、保存されているファイルやUSBストレージデバイスが破損することがあります。
- 改造されたUSBストレージデバイスを接続しないでください。製品の誤動作が発生したり、再生が失敗したりすることがあります。一般的な音楽ファイル、画像ファイル、動画ファイルが保存されたUSBストレージデバイスのみを使用してください。
- Windowsでサポートされていないユティリティプログラムでフォーマットされたストレージデバイスは認識されないことがあります。
- 外部電源が必要なUSBストレージデバイス（0.5 A以上）には専用の電源を接続してください。専用の電源を接続しない場合、デバイスが認識されないことがあります。
- USBストレージデバイスは、デバイスメーカーから提供されたケーブルを使用して接続してください。
- 一部のUSBストレージデバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。
- USBストレージデバイスのファイル配置方法はWindows XPに類似しており、ファイル名については、英字で100文字までが認識可能です。
- USBメモリデバイスに保存されたデータは破損するおそれがあるため、重要なファイルは必ずバックアップしてください。当社は、データの損失に対する責任は負いかねます。
- 電源アダプターを利用しての電源供給（バスパワー）に対応しないUSBストレージデバイスを接続する場合、本機に認識されないことがあります。必ず、外部電源を接続してください。  
- 外部電源には電源アダプターを使用してください。外部電源にUSBケーブルを使用することについては保証いたしかねます。
- USBメモリーデバイスに複数のパーティションがある場合、またはUSBマルチカードリーダーを使用している場合、最大で4つのパーティションまたはUSBメモリーデバイスを使用できません。
- USBメモリーデバイスをUSBマルチカードリーダーに接続した場合、ボリュームデータが検出されないことがあります。
- USBメモリーデバイスが正常に動作しない場合は、一度取り外して再度接続してください。
- USBメモリーデバイスの検出速度は、デバイスごとに異なります。
- USBがスタンバイモードで接続されている場合、ディスプレイの電源をオンにしたときに、特定のハードディスクが自動的にロードされます。
- 推奨される容量は、USB外部ハードディスクの場合は1TB以下、USBメモリーの場合は32GB以下です。
- A推奨される容量を超える容量のデバイスは、正常に動作しないことがあります。
- 「省エネモード」機能搭載のUSB外部ハードディスクが正常に動作しない場合は、ハードディスクの電源を一度入れ直してください。
- USB 2.0以前のUSBストレージデバイスにも対応しますが、動画では機能しないことがあります。
- 1つのフォルダー内では、最大999個のサブフォルダーまたはファイルが認識可能です。

## マイメディアでサポートされるファイル

### 外部対応字幕フォーマット

- \*.smi, \*.srt, \*.sub (MicroDVD, SubViewer 1.0/2.0), \*.ass, \*.ssa, \*.txt (TMPlayer), \*.psb (PowerDivX), \*.dcs (DLP Cinema)

### [選択再生]を使用するには

リモコン (HOME) →  → [写真]/[動画]/[音楽] → 

- 選択再生: 選択したコンテンツを再生します。

### [デバイスの選択]を設定するには

リモコン (HOME) →  → [写真]/[動画]/[音楽] → 

- デバイスの選択: 選択したデバイスからコンテンツをインポートします。



## 内部のサポート字幕フォーマット

- フルHD動画  
1920 X 1080 : XSUB (DivX6から生成される内部字幕をサポート)

## サポートされるビデオコーデック

拡張子	コーデック	
.asf .wmv	ビデオ	VC-1アドバンスドプロファイル (WMVAを除く)、VC-1シンプルおよびメインプロファイル
	Audio (音声)	WMA Standard (WMA v1/WMA音声を除く)、WMA 9 Professional
.divx .avi	ビデオ	DivX3.11、DivX4、DivX5、DivX6、XViD (3 warp-point GMCを除く)、H.264/AVC、Motion Jpeg、MPEG-4
	Audio (音声)	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、LPCM、ADPCM、DTS
.mp4 .m4v .mov	ビデオ	H.264/AVC、MPEG-4
	Audio (音声)	AAC、MPEG-1 Layer III (MP3)
.3gp .3g2	ビデオ	H.264/AVC、MPEG-4
	Audio (音声)	AAC、AMR-NB、AMR-WB
.mkv	ビデオ	MPEG-2、MPEG-4、H.264/AVC、VP8
	Audio (音声)	Dolby Digital、PCM、DTS、MPEG-1 Layer I/II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Vorbis、AAC
.ts .trp .tp .mts	ビデオ	H.264/AVC、MPEG-2
	Audio (音声)	MPEG-1 Layer I/II、MPEG-1 Layer III (MP3)、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM
.mpg .mpeg .dat	ビデオ	MPEG-1、MPEG-2
	Audio (音声)	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III (MP3)
.vob	ビデオ	MPEG-1、MPEG-2
	Audio (音声)	Dolby Digital、MPEG-1 Layer I、II、DVD-LPCM

## サポートされる音声ファイル

ファイル形式	項目	情報
.MP3	ビットレート	32 Kbps ~ 320 Kbps
	サンプル周波数	16 kHz ~ 48 kHz
	サポート	MPEG1、MPEG2、Layer2、Layer3
.wav	サポート	PCM
.ogg	サポート	Vorbis
.wma	サポート	WMA

## サポートされる写真ファイル

ファイル形式	形式	項目
2D (jpeg、jpg、jpe)	JPEG	<ul style="list-style-type: none"> <li>最小：64 x 64</li> <li>最大：標準タイプ：15360 (W) x 8640 (H) / プログレッシブタイプ：1920 (W) x 1440 (H)</li> </ul>
2D (png)	PNG	<ul style="list-style-type: none"> <li>最小：64 x 64</li> <li>最大：1920 (W) x 1080 (H)</li> </ul>
2D (bmp)	BMP	<ul style="list-style-type: none"> <li>最小：64 x 64</li> <li>最大：1920 (W) x 1080 (H)</li> </ul>

## ビデオの視聴

ディスプレイでビデオ ファイルを再生します。保存されているすべてのビデオがディスプレイに表示されます。

ディスプレイでビデオ ファイルを再生するには

リモコン (HOME) →  → [動画]

### 動画ファイル再生中のヒント

- ユーザーが作成した字幕は正常に動作しないことがあります。
- 一部の特殊文字は字幕では表示されないことがあります。
- HTMLタグは字幕では表示されません。
- サポートされていない言語の字幕は使用できません。
- 音声言語を変更するとスクリーンが一時的に乱れる (画像が停止する、再生速度が速くなるなど) が発生することがあります。
- 破損した動画ファイルは正常に再生されないことがあります。また、プレーヤー機能の一部が使用できないことがあります。
- 一部のエンコーダーで作成された動画ファイルは正常に再生されないことがあります。
- 録画ファイルの映像および音声信号がインターリーブ構造になっていない場合、映像と音声のいずれかのみが出力されます。
- HDビデオについては、フレームに応じて、最大1920 x 1080 @ 25/30 pまたは1280 x 720 @ 50/60 pがサポートされています。
- フレームによっては、1920 x 1080 @ 25/30 pまたは1280 x 720 @ 50/60 pより高い解像度のビデオは正しく再生されないことがあります。
- 対応した種類および形式以外の動画ファイルは正常に動作しません。
- 再生可能なムービーファイルの最大ビットレートは20 Mbpsです (ただしMotion JPEGに限り10 Mbps)。
- H.264/AVCのレベル4.1以上でエンコードされたプロファイルは、正常に再生されないことがあります。
- 30GBを超えるサイズの動画ファイルは再生できません。
- DivXの動画ファイルと字幕ファイルは、同じフォルダーに格納してください。
- 動画のファイル名と字幕ファイル名が同じでないと、字幕は表示されません。
- 高速転送をサポートしていないUSB接続経由でビデオを再生すると、ビデオが正常に動作しないことがあります。
- GMC (Global Motion Compensation、グローバル動き補償) でエンコードされたファイルは再生できないことがあります。



## ヒント

- [動画]で変更されたオプション値は、[写真]と[音楽]には影響しません。同様に、[写真]または[音楽]で変更されたオプション値が動画に影響することはありません。
- [写真]と[音楽]で変更されたオプション値は相互に影響します。
- ビデオファイルを停止した後に再開すると、停止した時点から再生できます。
- 字幕ファイルでは、同調ブロック10,000個まで使用できます。
- 動画の再生時は、ARC（縦横比）ボタンを押して画面サイズを調整できます。
- お客様の言語の字幕は、OSDメニューと同じになっている場合にのみサポートされます。
- コードページオプションは、字幕ファイルの言語によっては無効となる場合があります。
- 字幕ファイルに対応したコードページを選択してください。

## 写真の表示

画面での表示は、このモデルとは異なる場合があります。

画像ファイルの表示









リモコン (HOME) →  → [写真]

## 音楽の再生

音楽ファイルの表示

リモコン (HOME) →  → [音楽]

### ヒント

- サポートされていない拡張子のファイルは表示されません。
- ファイルが無効な場合は、破損した画像と、「ファイルを認識できません」というメッセージが表示されます。
- 破損した音楽ファイルは再生されず、再生時間は00:00と表示されます。
- 有料サービスなどからダウンロードされた、著作権により保護される音楽ファイルは再生されなかったり、不正確な情報が表示される場合があります。
- このモードでは、リモコンの 、、、、 のボタンも使用できます。
-  ボタンを押すと次の曲を、 ボタンを押すと前の曲を選択できます。
- 曲を再生してから5秒以内に  ボタンを押すと、前の曲に戻ります。再生してから5秒以降に同じボタンを押すと、曲の最初に戻ります。

## 設定

DRM-保護付きのDivXビデオを再生するには、製品を登録する必要があります。

購入またはレンタルしたDivX® VODコンテンツを再生するには

リモコン（HOME（ホーム）） →  → [設定] → DivX® VOD

購入またはレンタルしたDivX®VODコンテンツを再生するには、デバイスから[www.divx.com/vod](http://www.divx.com/vod)にアクセスし、10桁のDivX登録コードを入力してデバイスを登録する必要があります。

- [登録]：ディスプレイの登録コードを表示します。
- [登録解除]：登録をキャンセルします。

### ヒント

- 登録コードの確認中、一部のボタンが一時的に動作しないことがあります。
- 別のデバイスのDivX登録コードを使用している場合、レンタルまたは購入したDivXファイルを再生できません。ご使用のモニター製品に割り当てられているDivX登録コードを使用してください。
- 標準DivXコーデックで変換されていない動画ファイルや音声ファイルは、破損しているか、再生できないことがあります。
- DivX®VODコードを使用すると、1つのアカウントで最大6つのデバイスをアクティブ化できます。
- 一度登録を解除した場合、再度DivX®VODコンテンツを見るには、もう一度デバイスを登録する必要があります。

## SuperSignコンテンツ

SuperSignエディターの[書き出し]オプションを使用して保存したファイルを再生します。

エクスポートオプションを使用して保存されたファイルを再生するには

リモコン (HOME) → 

SuperSign Managerによって配信されたコンテンツのみが表示され、選択可能です。

### ヒント

- USBストレージデバイスにAutoPlayフォルダーがあり、ファイルがサポートされる形式である場合、USBストレージデバイスをモニターに接続したときに、自動的に再生されます。

## ファイルマネージャー

ファイルを移動、コピー、または削除できます。

ファイルを移動、コピー、または削除するには

リモコン (HOME) → 

- ファイルまたはフォルダーを内部メモリから外部メモリに移動またはコピーできます。
- ファイルまたはフォルダーを外部から内部メモリに移動またはコピーできます。
- 内部メモリまたは外部メモリからファイルまたはフォルダーを削除できます。

### ヒント

- このアプリケーションはファイルの管理を目的としており、メディアファイルは再生できません。メディアファイルを再生するには、[マイメディア]を起動します。
- 内部メモリの空き容量よりサイズの大きなファイルを、内部メモリにコピーしたり移動したりすることはできません。

## 情報

Signageの基本情報を確認するには

リモコン (HOME) → 

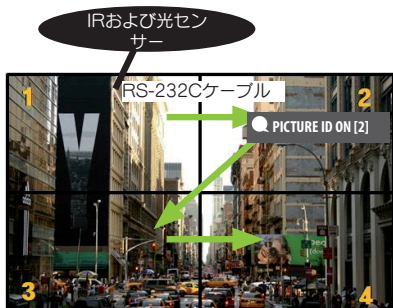
Signageについての基本情報を確認できません。

また、[スマート省エネモード]に切り替えたり、[フェイルオーバー]設定を構成したりできます。 ([映像省エネ設定]モードがオフに設定されている場合のみ、[スマート省エネモード]に切り替えることができます。)

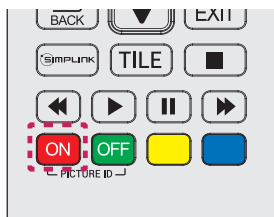
## Picture IDを利用する

Picture IDは、マルチビジョン用のIRレシーバーを使用して特定のセット（ディスプレイ）の設定を変更する場合に使用します。IR信号を受信する機器は、RS-232Cコネクタ経由で別の機器と通信します。各機器は、セットIDにより識別されます。リモコンを使用してPicture IDを設定し、Picture IDとセットIDが一致するディスプレイ機器のみをリモコン操作できます。

- 以下に示すように、設置されたモニターにセットIDを割り当てます。



- リモコンの赤[ON(オン)]ボタンを押して、PICTURE IDを割り当てます。



- 選択した対象にセットIDを割り当てます。
  - Picture IDとは異なるセットIDを持つセットは、IR信号によって制御できません。

### ✔ ヒント

- たとえば、Picture IDを2とすると、右上のディスプレイ（セットID：2）はIR信号で制御できます。
- Picture IDに対して緑[OFF(オフ)]ボタンを押すと、すべてのモニターに対するPicture IDがオフになります。その後、リモコンのいずれかのボタンを押すと、すべてのモニターが再び機能します。
- 映像IDがオンになっている場合、Picture IDは1ずつしか増やせません。減らすことはできません。



# 詳細設定

## メインメニューの設定

### クイック設定

頻繁に使用される設定メニューを構成します。

#### モニターのオン/オフを自動的に切り替えるには

リモコン (SETTINGS) → [クイック] → [オンタイマー]/[オフタイマー]

モニターの[オンタイマー]/[オフタイマー]を設定できます。 オン/オフタイマーを設定しない場合は、[オフ]を繰り返し選択します。

#### バックライトとコントラストを自動的に設定するには

リモコン (SETTINGS) → [クイック] → [スマート省エネモード]

電力消費を節約するために、映像の明るさによってモニターの明るさが自動的に調整されます。

- [オフ]：[スマート省エネモード]機能を無効にします。
- [オン]：[スマート省エネモード]機能を有効にします。

## 映像の設定

映像モードを選択するには

リモコン (SETTINGS) → [映像] → [映像モード]

Select the picture mode that is best suited to the video type.

- [あざやか]: コントラスト、明るさ、およびシャープネスを高めることによって、ビデオ映像を調整します。
- [標準]: 標準的環境用に映像を調整します。
- [APS]: 画面の明るさを調整して、電力消費量を減らします。
- [シネマ]: 映画の視聴に合わせてビデオを最適化します。
- [スポーツ]: スポーツ観戦に合わせてビデオを最適化します。すばやい動作も画面上で明瞭に表示されます。
- [ゲーム]: ゲームのプレイ用にビデオ映像を最適化します。
- [カスタムモード1/カスタムモード2]: エキスパートまたは高品質な映像に関心のある方なら誰でも、最適な映像品質になるよう手動で映像を調整できます。

### ヒント

- 入力信号によっては、使用可能な映像モードが異なる場合があります。
- [カスタムモード]は、映像品質のエキスパートが特定の映像を使用して映像品質を微調整できるオプションです。したがって、標準的な映像では効果がない場合もあります。

## 映像モードを微調整するには

リモコン (SETTINGS) → [映像] → [画質調整]

- [バックライト]：LCDバックライトを制御して、画面の明るさを調整します。値が大きいほど、画面が明るくなります。
- [コントラスト]：映像の明暗の差を調整します。値が大きいほど、差が大きくなります。
- [明るさ]：画面の全体的な明るさを調整します。値が大きいほど、画面が明るくなります。
- [シャープネス]：エッジのシャープネスを調整します。値が大きいほど、エッジは鮮明でシャープになります。
- [水平シャープネス]：水平の視点から画面のコントラストエッジのシャープネスを調整します。
- [垂直シャープネス]：垂直の視点から画面のコントラストエッジのシャープネスを調整します。
- [色の濃さ]：画面の色合い柔らかく、または深くします。値が大きいほど、色が濃くなります。
- [色合い]：画面に表示される赤レベルと緑レベルのバランスを調整します。赤の値が大きいほど濃い赤になり、緑の値が大きいほど濃い緑になります。
- [色温度]：画面の色合いを温かみ、または冷涼感を感じるように調整します。
- [詳細設定/プロ設定]：詳細オプションをカスタマイズします。

ダイナミック コントラスト	映像の明るさに応じて、画面の明るい部分と暗い部分の差を最適化します。
超解像	映像のぼやけた部分や不明瞭な部分をシャープにします。
色域	表示する色域を選択します。
ダイナミック カラー	より鮮やかで明るい表示になるように映像の色合いと彩度を調整します。
輪郭補正	映像の輪郭が鮮明かつシャープになります。
カラー フィルター	RGB空間の特定の色領域にフィルタを適用して、カラーおよび色相を正確に調整します。
色補正	好みに合わせて肌の色合い、草木の色合い、空の色合いを調整します。
ガンマ	映像の標準の明るさを調整します。
ホワイト バランス	好みに合わせて映像全体の色合いを調整します。 [カスタムモード]では、[メソッド]オプションまたは[パターン]オプションを使用して映像を微調整できます。
カラーマネー ジメントシステム	エキスパートは、テストパターンを使用して色の濃さを調整する際に、カラーマネー ジメントシステムを使用します。カラーマネー ジメントシステムでは、他の色に影響を及ぼすこと なく、6種類の色空間（赤/黄/青/シアン/マゼンタ/緑）から選択することで調整できます。 調整後も、通常の映像で色合いの変化がわからないこともあります。

 ヒント

- 入力信号や、選択した映像モードに応じて調節できる映像調整項目が異なります。

- [映像オプション]：映像オプションをカスタマイズします。

ノイズリダクション	映像を明瞭にするためノイズを削除します。
MPEGノイズリダクション	デジタル映像信号の作成時に生成されたノイズを除去します。
黒レベル	映像の黒レベルを調整して、映像の明るさとコントラストを修正します。
リアルシネマ	映画のような画像にビデオ映像を最適化します。
TruMotion	動きの速い映像を最適な映像品質で表示します。 -[オフ]：TruMotionをオフにします。 -[なめらかに]：動きの速い映像を滑らかに表示します。 -[クリア]：動きの速い映像を明瞭に表示します。 -[ユーザー設定]：不異常振動を手動で設定します。 * [不異常振動]：画面上のジャダー効果を調整します。

### ヒント

- 詳細設定は、[ユーザー設定]モードでのみ調整できます。

- [初期化]：映像の設定を初期化します。

### 画面サイズを設定するには

リモコン (SETTINGS) → [映像] → [画面サイズ]

映像が最適なサイズで表示されるように画面サイズを変更します。

- [16:9]：16:9の画面サイズで映像を表示します。
- [ジャストスキャン]：映像の端を切り取らずに元のサイズで表示します。  
オリジナルはHDMI (720p以上) モードで使用可能です。
- [プログラム]：入力ビデオ信号に応じて画面サイズを4:3または16:9に自動的に変更します。
- [4:3]：映像を4:3の画面サイズで表示します。
- [ズーム]：映像を画面全体に拡大します。映像の上下端が切り取られることがあります。
- [シネマズーム]：歪みなく、2.35:1のシネマスコープ比で映像を拡大します。

**注意**

- 画面に同じ画像を長時間表示すると、その画像が画面に焼き付き、画質を損なうおそれがあります。このような焼き付き現象については、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 画像サイズを、[4:3]、のようにレターボックス(黒帯)が発生するモードで長時間表示し続けると、残像や画面に焼き付きが生じる可能性があります。
- オプションはモデルによって異なります。
- 入力信号に応じて、使用可能な画面サイズが異なる場合があります。
- HDMI1-PC/HDMI2-PC/DisplayPort-PC/DVI-PCモードでは、[4:3]と[16:9]の画面サイズのみを選択できます。

**映像省エネ設定機能を使用するには**

リモコン (SETTINGS) → [映像] → [映像省エネ設定]

画面の明るさを調整して、電力消費量を減らします。

- [自動]: 周囲の照明に応じてモニターの明るさを調整します。(この機能は特定のモデルでのみ使用可能です。)
- [オフ]: 映像省エネ設定モードを無効にします。
- [最小/中/最大]: モニターに指定された映像省エネ設定レベルに応じて、映像省エネ設定を使用します。
- [映像オフ]: 画面をオフにします。音声のみ聞こえます。リモコンで電源ボタン以外の任意のボタンを押すと、画面をオンに戻すことができます。

**スマート省エネモード機能を使用するには**

リモコン (SETTINGS) → [映像] → [スマート省エネモード]

電力消費を節約するために、映像の明るさに従ってモニターの明るさが自動的に調整されます。

- [オフ]: [スマート省エネモード]機能を無効にします。
- [オン]: [スマート省エネモード]機能を有効にします。

**映像テストを実行するには**

リモコン (SETTINGS) → [映像] → [映像テスト]

映像テストを実行し、映像の信号が正常に出力されていることを確認し、その後、画面上の関連するオプションを選択して問題を解決します。テスト映像で問題がない場合は、接続された外部デバイスを確認してください。

## 音声の設定

### サウンドモードを選択するには

リモコン (SETTINGS) → [音声] → [サウンドモード]

現在視聴しているビデオのタイプに応じて、最適な音声品質が自動的に選択されます。

- [標準]：このサウンドモードはすべてのコンテンツに適しています。
- [ニュース]：ニュースの視聴に合わせて音声を最適化します。
- [音楽]：音楽の再生に合わせて音響を最適化します。
- [シネマ]：映画の視聴に合わせて音響を最適化します。
- [スポーツ]：スポーツ観戦に合わせて音響を最適化します。
- [ゲーム]：ゲームのプレイに合わせて音響を最適化します。

### サウンド効果機能を使用するには

リモコン (SETTINGS) → [音声] → [サウンド効果]

- [クリアボイスII]：3レベルの調整でよりクリアの音声を楽めます。
- [イコライザー]：イコライザーを使用して音声を手動で調整します。
- [バランス]：左側のスピーカーと右側のスピーカーの音量を調整します。
- [初期化]：音声の設定を初期化します。

### [音量コントロール]を選択するには

リモコン (SETTINGS) → [音声] → [音量コントロール]

[低]/[中]/[高]のいずれかを選択して、音量の範囲を設定できます。

### 音声とビデオを同期するには

リモコン (SETTINGS) → [音声] → [AVシンク]

- [スピーカー出力]：デジタルオーディオ出力ポート、LGオーディオ機器、またはヘッドフォンに接続されたスピーカーなどの外部スピーカーからの音声とビデオの同期を調整します。値がデフォルト値から - に近づくほど、音声出力は高速になり、値が + に近づくほど音声出力は低速になります。
- [バイパス]：遅延なく外部デバイスからの音声を出力します。モニターに入力されたビデオの処理に時間がかかるため、音声ビデオより先に出力される場合があります。

### 音声テストを実行するには

リモコン (SETTINGS) → [音声] → [音声テスト]

音声テストを実行し、音声の信号が正常に出力されていることを確認し、その後、画面上の関連するオプションを選択して問題を解決します。音声テストで問題がない場合は、接続された外部デバイスを確認してください。

## ネットワーク設定

### サイネージ名を設定するには

リモコン (SETTINGS) → [ネットワーク] → [サイネージ名]

オンスクリーンキーボードを使用してネットワーク上で使用するSignage Monitorに名前を設定できます。

### ネットワークを設定するには

リモコン (SETTINGS) → [ネットワーク] → [有線接続 (イーサネット)]

- 有線LANに接続する: イラストに示すように、LANポートを使用してローカルエリアネットワーク (LAN) にディスプレイを接続し、ネットワーク設定を行います。本機は、有線ネットワークの接続のみに対応します。有線接続を行った後に、一部のネットワークでは別途のネットワーク設定が必要になる場合があります。ほとんどの場合、特別な設定がなくてもネットワークは自動的に認識されます。詳細については、インターネットプロバイダーにお問い合わせいただくか、ルーターの取扱説明書を参照してください。

### 無線ネットワークを接続する

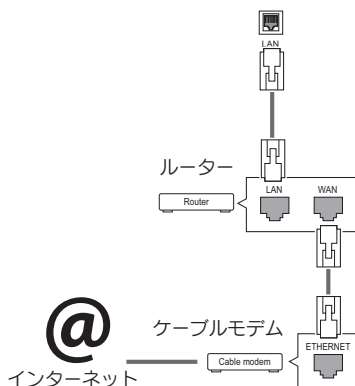
リモコン (SETTINGS) → [ネットワーク] → [無線ネットワーク接続]

モニターをワイアレスネットワーク用に設定すれば、利用可能な無線インターネットネットワークを確認して接続することが可能です。

- [非表示の無線ネットワークを追加]: 使用可能な無線ネットワークがセキュリティ上、ネットワーク名の非表示に設定している場合、直接ネットワーク名を入力して追加することができます。
- [WPS-PBCで接続]: 接続する無線ルーターがWPS-PBC (Wi-Fi Protected Setup-Push Button Configuration)機能がある場合は、無線ルーターのWPS-PBCボタンを押すことで接続することができます。無線ルーターのWPS-PBCボタンを押してから、本機の「接続」ボタンを押してください。
- [WPS-PINで接続]: WPS-PIN (Wi-Fi Protected Setup-Personal Identification Number)でアクセスポイントに接続します。接続するアクセスポイントを選択します。選択したアクセスポイントのWi-Fi機器で本機で表示されたPINナンバーを入力します。
- [詳細設定]: 無線ネットワークに接続後に詳細なIPアドレスなどの接続情報が確認できます。また、編集ボタンを押して、接続するIPアドレスやDNSサーバーなどの変更も行うことができます。

## ネットワーク設定のヒント

- ディスプレイには、標準のLANケーブル（RJ45コネクタを備えたカテゴリ5以上のケーブル）を使用してください。
- 設定時に生じたネットワーク接続の問題は、ルーターまたはモデムをリセットすることで解決する場合があります。ディスプレイをホームネットワークに接続したら、ルーターまたはモデムの電源を一度オフにして再度起動させてください。
- インターネットサービスプロバイダー（ISP）によっては、インターネットサービスを受けることのできる機器の数が、サービス条件によって制限されている場合があります。詳細については、プロバイダーにお問い合わせください。
- 当社は、インターネット接続またはその他の接続機器に関連する通信エラーや不具合が原因で生じた、ディスプレイやインターネット接続機能の誤作動の責任を負いかねます。
- 当社は、インターネット接続により生じた損害・損傷の保証はいたしかねます。
- アクセスするコンテンツの要件をネットワーク接続速度が満たしていないと、正常に再生されない場合があります。
- インターネット接続を提供するプロバイダーが設定している特定の制限によって、一部の接続動作が実行できない場合があります。
- プロバイダーによって請求される料金（接続料やその他費用）は、お客様の負担となります。


 ヒント

- 本機でインターネットに直接接続する場合は、インターネット接続に常時接続している必要があります。
- インターネットに接続できない場合は、ネットワーク上のPCでネットワーク状態を確認します。
- [ネットワーク設定]を使用する場合は、LANケーブルを確認するか、ルーターのDHCPがオンになっていることを確認します。
- ネットワーク設定を完了していない場合は、ネットワーク機能が適切に動作しない場合があります。

 注意

- モジュラー電話ケーブルをLANポートに接続しないでください。
- さまざまな接続方法があるため、通信事業者またはインターネットサービスプロバイダーの規定に従ってください。
- [ネットワーク設定]メニューは、ディスプレイが物理ネットワークに接続されるまで使用できません。



### ワイヤレスネットワーク設定のヒント

- ワイヤレスネットワークは周波数2.4 GHzで動作している他のデバイス（ワイヤレスフォン、Bluetoothデバイス、電子レンジ）により干渉を受けることがあります。また、他のWi-Fiデバイスと同様に、5 GHzの周波数を使用するデバイスにより干渉を受ける可能性もあります。
- 周囲のワイヤレス環境によってワイヤレスネットワークサービスの動作が遅くなる場合があります。
- ローカルホームネットワーク全体をオフにしない場合、一部のデバイスでネットワークトラフィックが発生することがあります。
- アクセスポイント接続の場合、ワイヤレス接続をサポートするアクセスポイントデバイスが必要です。また、ワイヤレス接続機能をデバイスで有効にする必要があります。ユーザーのアクセスポイントでワイヤレス接続を利用できるかどうかについては、サービスプロバイダにお問い合わせください。
- アクセスポイント接続について、SSIDおよびAPのセキュリティ設定を確認してください。SSIDおよびアクセスポイントのセキュリティ設定については、該当するマニュアルを参照してください。
- ネットワークデバイス（有線/ワイヤレスライン共有、ハブ）の無効な設定により、モニターの動作が遅くなったり、正しく動作しない場合があります。適切なマニュアルに従ってデバイスを正しく取り付けて、ネットワークを設定してください。
- 接続方法は、アクセスポイントの製造メーカーによって異なります。

## 機器設定

### 言語を設定するには

リモコン (SETTINGS) → [機器設定] → [メニュー言語]

画面に表示されたメニューの言語のいずれかを選択します。

- [メニュー言語]：サイネージの言語を設定します。

### 時刻/日付を設定するには

リモコン (SETTINGS) → [機器設定] → [時刻設定]

時間を確認または変更できます。

- [時刻]：時刻を手動で設定できます。
- [日付]：日付を手動で設定できます。

## サマータイムを適用するには

リモコン (SETTINGS) → [機器設定] → サマータイム

サマータイムの適用期間を設定し、[オン]/[オフ]を選択することでこの機能を有効/無効にできます。

- [Start Time (開始時刻)]/[End Time (終了時刻)] : 月/月の週番号/曜日/時刻の設定を行うことで時刻を設定できます。

 ヒント

- サマータイムを設定する場合、月の週番号と曜日の設定を行います。
- たとえば、サマータイムが2014年7月7日に始まる場合、2014年7月の第1月曜日なので、時刻を7月/第1週/月曜/00:00と設定します。
- 月によっては、第4週または第5週が「最終週」になります。

## モニターのオン/オフを自動的に切り替えるには

リモコン (SETTINGS) → [機器設定] → [タイマー]

モニターの[オンタイマー]/[オフタイマー]を設定できます。

- [オンタイマー] : モニターをオンにする時刻を設定できます。
- [オフタイマー] : モニターをオフにする時刻を設定できます。
- [無信号電源オフ (15分)] : 入力元がない場合、15分後にモニターが自動的にオフになります。自動的にオフにしたいくない場合は、[信号がなければ電源をオフ(15分)]を[オフ]に設定します。
- [自動電源オフ (4時間)] : キー入力がない場合、モニターが自動的にオフになります。

 ヒント

- オンタイマー/オフタイマーは最大7つのスケジュールを保存できます。予約一覧で設定されている時刻になると、モニターの電源がオンまたはオフになります。予約一覧に複数の時刻が設定されている場合は、この機能は現在の時刻から一番近い時刻に対して動作します。
- オンタイマーまたはオフタイマーは一度設定すると、設定した時刻に毎日作動します。
- 電源オフスケジュール機能は、デバイスの時計が正しく設定されている場合にのみ正常に動作します。
- スケジュールされた電源オンと電源オフの時刻が同一の場合、この設定がオンであれば電源オフの時刻が優先されます。この設定がオフであればその逆になります。

## モニター設定を初期化するには

リモコン (SETTINGS) → [機器設定] → [初期設定に戻す]

すべてのモニター設定を初期化します。

## 困ったとき

### 映像が表示されない

このようなときは	ここをお調べください
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認してください。</li> </ul>
「表示範囲を超えています」というメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>PC（ビデオカード）からの信号が、本機の解像度を超える設定になっているか、垂直周波数または水平周波数の範囲から外れています。この取扱説明書に記載されている仕様を参照して、解像度や周波数の範囲を調整します。 * 最大解像度：1920 x 1080 (60 Hz)</li> </ul>
「シグナルケーブルをチェック」というメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続機器からの映像信号が本機に入力されていません。信号ケーブルを確認してください。</li> <li>リモコンのINPUT（入力）メニューを押して入力信号を確認します。</li> </ul>

### 製品の接続時に「Unknown Product（不明な製品）」などのメッセージが表示される

このようなときは	ここをお調べください
うまく認識しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオカードがプラグアンドプレイ機能に対応しているか確認してください。また、ビデオカードの最新のドライバをインストールすることをお勧めします。</li> </ul>

### 画面の映像が適切に表示されない

このようなときは	ここをお調べください
画面が正常な位置で表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオカードの解像度と周波数が製品でサポートされていることを確認します。周波数がサポート範囲から外れている場合、コントロールパネルの[画面]、[設定]メニューで推奨の解像度に設定します。</li> </ul>
画面が正常に表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な映像信号が入力端子に接続されていません。ソース入力信号に合った信号ケーブルを接続します。</li> </ul>



### ヒント

- ソフトウェアに関連する内容は、製品の機能をアップグレードするため事前の通告なしに変更されることがあります。

## 画面に残像が表示される

このようなときは	ここをお調べください
電源をオフにすると、残像が表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 同じ画像を長期間使用していると、ピクセルが短時間でダメージを受ける可能性があります。スクリーンセーバーなどを使用して長時間同じ映像を表示し続けないようにするか、「残像防止」機能を使用してください。</li> </ul>

## オーディオが機能しない

このようなときは	ここをお調べください
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オーディオケーブルが適切に接続されていることを確認してください。</li> <li>• 音量を調整してください。</li> <li>• サウンドが適切に設定されていることを確認してください。</li> </ul>
音がクリアではありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 適切なイコライザサウンドを選択します。</li> </ul>
音量が小さすぎます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 音量を調整してください。</li> </ul>

## 画面の色が正常ではない

このようなときは	ここをお調べください
画面の色の解像度が低くなっています（16色）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 24ビット（True Color）以上の色数に設定してください。Windowsで、[コントロールパネル]、[画面]、[設定]、[画面の色]メニューを選択します。</li> </ul>
画面の色が不安定またはモノクロで表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 信号ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。ビデオカードがPCのバススロットに正しく挿入されていることを確認してください。</li> </ul>
画面に小さな点が表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 画面に、まれに黒、赤、緑、青、白などの点が表示されることがあります。これはドット抜けによる現象で、LCDパネルの特性です。不良や故障ではありません。</li> </ul>

## 正常に動作しない。

このようなときは	ここをお調べください
電源が突然オフになった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• タイマーがセットされていませんか？</li> <li>• 電源コントロールの設定を確認します。</li> <li>• 電源の障害の可能性があります。周囲の状況を確認してください。</li> </ul>



注意

- 常に動きのある映像を表示している場合には残像は生じませんが、静止画を長時間表示すると残像がおきる恐れがあります。このため静止画を表示する際は、残像を防止するために以下の注意にしたがってディスプレイを使用することをお勧めします。最低12時間に1度は画面を切り替えることで、残像の発生を抑えることができます。さらに頻繁に切り替えを行えば、より効果的です。

望ましい動作条件

- 1 背景と文字の色を等しい時間間隔で切り替える。

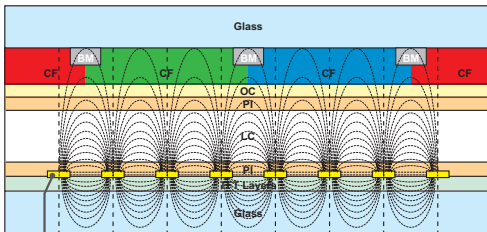


色を切り替える際、補色を設定すると残像の発生をより防ぎやすくなります。

- 2 画像を等しい時間間隔で切り替える。



切り替え前の文字や画像は、切り替え後も必ず同じ場所に表示されるようにしてください。



ITOまたはMoTiピクセルレイヤー

残像とは？

LCDパネルが静止した画像を長時間表示した場合、液晶を動作させている電極間に電圧の差が生じる場合があります。この電圧の差が電極間で徐々に高まっていくと、液晶が一定方向に停滞する傾向が強まります。このため、直前に表示されていた画像が残ることになります。この現象を残像と呼びます。

## 仕様


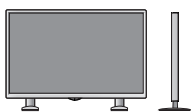
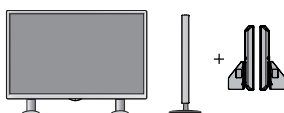
42LS75A

42LS73B

LCDパネル	画面タイプ	106 cmワイドTFT (Thin Film Transistor) LCD (Liquid Crystal Display) パネル 示領域の対角線サイズ：106 cm
	ピクセルピッチ	0.4833 mm (横) × 0.4833 mm (縦)
Video signal	最大解像度	1920 × 1080 (60 Hz) - OSまたはビデオビデオカードタイプによっては、サポートされない場合があります。
	推奨解像度	1920 × 1080 (60 Hz) - OSまたはビデオビデオカードタイプによっては、サポートされない場合があります。
	水平周波数	HDMI / DVI-D / DisplayPort : 30 kHz ~ 83 kHz
	垂直周波数	HDMI / DVI-D / DisplayPort : 56 Hz ~ 60 Hz
	同期方法	デジタル
入力コネクタ		Audio, LAN, HDMI1, HDMI2/OPS, IR & Light sensor, Pixel Sensor, DVI-D IN, DisplayPort IN, USB, RS-232C IN
出力ポート		DisplayPort OUT, RS-232C OUT, SPEAKER OUT
内蔵式バッテリー		適用
電源	定格電圧	AC 100 V ~ 50/60 Hz 1.6 A
	消費電力	オンモード：160 W (最大) スリープモード (DVI-D、HDMI) : ≤ 1.0 W スリープモード (DisplayPort) : ≤ 0.7 W オフモード：≤ 0.5 W
環境条件	動作温度	0 ° C ~ 40 ° C
	動作湿度	10 % ~ 80 %
	保管温度	-20 ° C ~ 60 ° C
	保管湿度	5 % ~ 95 %

上記の製品仕様は、製品の機能を改良するため事前の通告なしに変更されることがあります。

“~” は交流 (AC) を表し、“=” は直流 (DC) を表します。

寸法 (幅 × 高さ × 奥行) / 質量	
	948.7 mm x 555.3 mm x 31.7 mm / 12.5 kg
	
	948.7 mm x 617.7 mm x 298.3 mm / 13.9 kg
	
948.7 mm x 555.3 mm x 81.3 mm / 13.3 kg	
	
948.7 mm x 617.7 mm x 298.3 mm / 14.7 kg	

## \* スピーカーの仕様 (対応機種のみ)

音声	RMSオーディオ出力	10 W + 10 W (R + L)
	入力感度	0.7 Vrms
	スピーカーのインピーダンス	8 Ω

上記の製品仕様は、製品の機能を改良するため事前の通告なしに変更されることがあります。

49LS75A


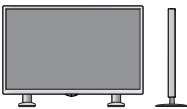

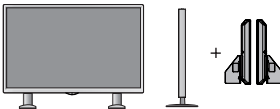
49LS73B

LCDパネル	画面タイプ	123 cmワイドTFT (Thin Film Transistor) LCD (Liquid Crystal Display) パネル 示領域の対角線サイズ: 123 cm
	ピクセルピッチ	0.55926 mm (H) x 0.55926 mm (V)
Video signal	最大解像度	1920 x 1080 (60 Hz) - OSまたはビデオビデオカードタイプによっては、サポートされない場合があります。
	推奨解像度	1920 x 1080 (60 Hz) - OSまたはビデオビデオカードタイプによっては、サポートされない場合があります。
	水平周波数	HDMI / DVI-D / DisplayPort : 30 kHz ~ 83 kHz
	垂直周波数	HDMI / DVI-D / DisplayPort : 56 Hz ~ 60 Hz
	同期方法	デジタル
入力コネクタ		Audio, LAN, HDMI1, HDMI2/OPS, IR & Light sensor, Pixel Sensor, DVI-D IN, DisplayPort IN, USB, RS-232C IN
出力ポート		DisplayPort OUT, RS-232C OUT, SPEAKER OUT
内蔵式バッテリー		適用
電源	定格電圧	AC 100 V ~ 50/60 Hz 1.8 A
	消費電力	オンモード: 180 W (最大) スリープモード (DVI-D, HDMI) : ≤ 1.0 W スリープモード (DisplayPort) : ≤ 0.7 W オフモード: ≤ 0.5 W
環境条件	動作温度	0 ° C ~ 40 ° C
	動作湿度	10 % ~ 80 %
	保管温度	-20 ° C ~ 60 ° C
	保管湿度	5 % ~ 95 %

上記の製品仕様は、製品の機能を改良するため事前の通告なしに変更されることがあります。

“~” は交流 (AC) を表し、“==” は直流 (DC) を表します。



寸法 (幅 x 高さ x 奥行) / 質量	
	1094.6 mm x 637.4 mm x 31.7 mm / 15.6 kg
	
	1094.6 mm x 699.7 mm x 298.3 mm / 17.0 kg
	
	1094.6 mm x 637.4 mm x 81.3 mm / 16.4 kg
	
	1094.6 mm x 699.7 mm x 298.3 mm / 17.8 kg

## \* スピーカーの仕様 (対応機種のみ)



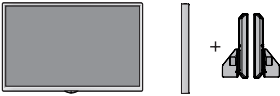
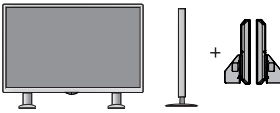
音声	RMSオーディオ出力	10 W + 10 W (R + L)
	入力感度	0.7 Vrms
	スピーカーのインピーダンス	8 Ω

上記の製品仕様は、製品の機能を改良するため事前の通告なしに変更されることがあります。

## 55LS75A

LCDパネル	画面タイプ	139 cmワイドTFT (Thin Film Transistor) LCD (Liquid Crystal Display) パネル 示領域の対角線サイズ：139 cm
	ピクセルピッチ	0.630 mm (横) × 0.630 mm (縦)
Video signal	最大解像度	1920 x 1080 (60 Hz) - OSまたはビデオビデオカードタイプによっては、サポートされない場合があります。
	推奨解像度	1920 x 1080 (60 Hz) - OSまたはビデオビデオカードタイプによっては、サポートされない場合があります。
	水平周波数	HDMI / DVI-D / DisplayPort : 30 kHz ~ 83 kHz
	垂直周波数	HDMI / DVI-D / DisplayPort : 56 kHz ~ 60 kHz
	同期方法	デジタル
入力コネクタ		Audio, LAN, HDMI1, HDMI2/OPS, IR & Light sensor, Pixel Sensor, DVI-D IN, DisplayPort IN, USB, RS-232C IN
出力ポート		DisplayPort OUT, RS-232C OUT, SPEAKER OUT
内蔵式バッテリー		適用
電源	定格電圧	AC 100 V ~ 50/60 Hz 1.8 A
	消費電力	オンモード：180 W (最大) スリープモード (DVI-D、HDMI) : ≤ 1.0 W スリープモード (DisplayPort) : ≤ 0.7 W オフモード：≤ 0.5 W
環境条件	動作温度	0 ° C ~ 40 ° C
	動作湿度	10 % ~ 80 %
	保管温度	-20 ° C ~ 60 ° C
	保管湿度	5 % ~ 95 %

上記の製品仕様は、製品の機能を改良するため事前の通告なしに変更されることがあります。  
“~” は交流 (AC) を表し、“=” は直流 (DC) を表します。

寸法（幅 × 高さ × 奥行） / 質量	
	1230.4 mm x 713.7 mm x 31.7 mm / 20.7 kg
	
	1230.4 mm x 776.1 mm x 298.3 mm / 22.1 kg
	
1230.4 mm x 713.7 mm x 81.3 mm / 21.5 kg	
	
1230.4 mm x 776.1 mm x 298.3 mm / 22.9 kg	

## \* スピーカーの仕様（対応機種のみ）

音声	RMSオーディオ出力	10 W + 10 W (R + L)
	入力感度	0.7 Vrms
	スピーカーのインピーダンス	8 Ω

上記の製品仕様は、製品の機能を改良するため事前の通告なしに変更されることがあります。

## 寸法

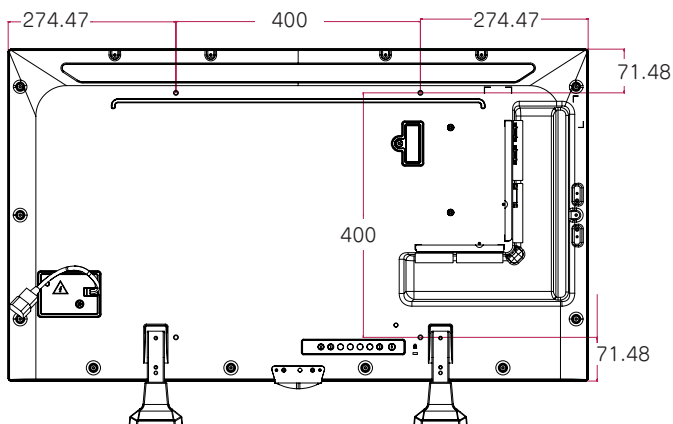
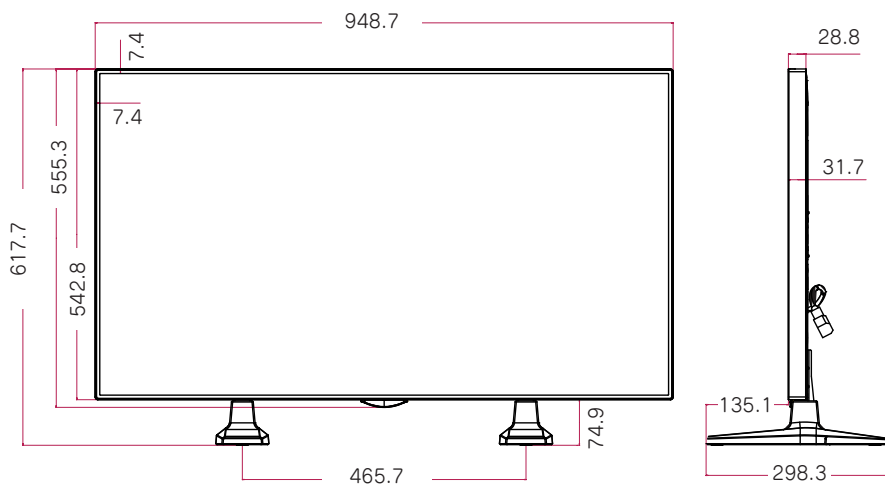
実際の製品および付属品の外見は、このイラストとは異なることがあります。  
ネジのサイズについては、「壁に取り付ける」のページを参照してください。

以下の製品仕様は、製品の機能をアップグレードするため事前の通告なしに変更されることがあります。

42LS75A

42LS73B

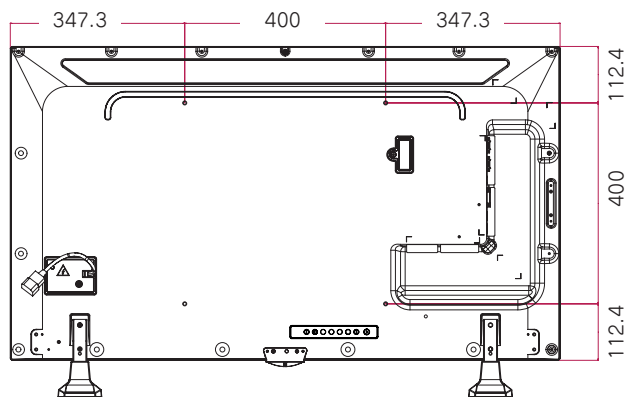
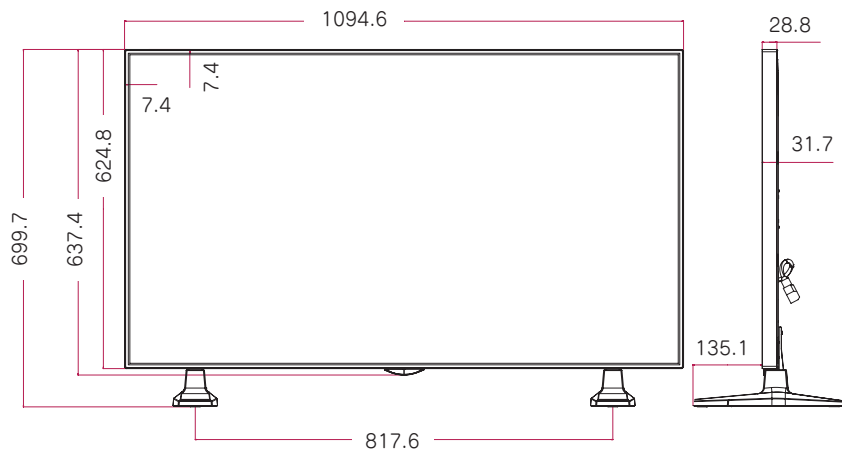
(単位：mm)



49LS75A

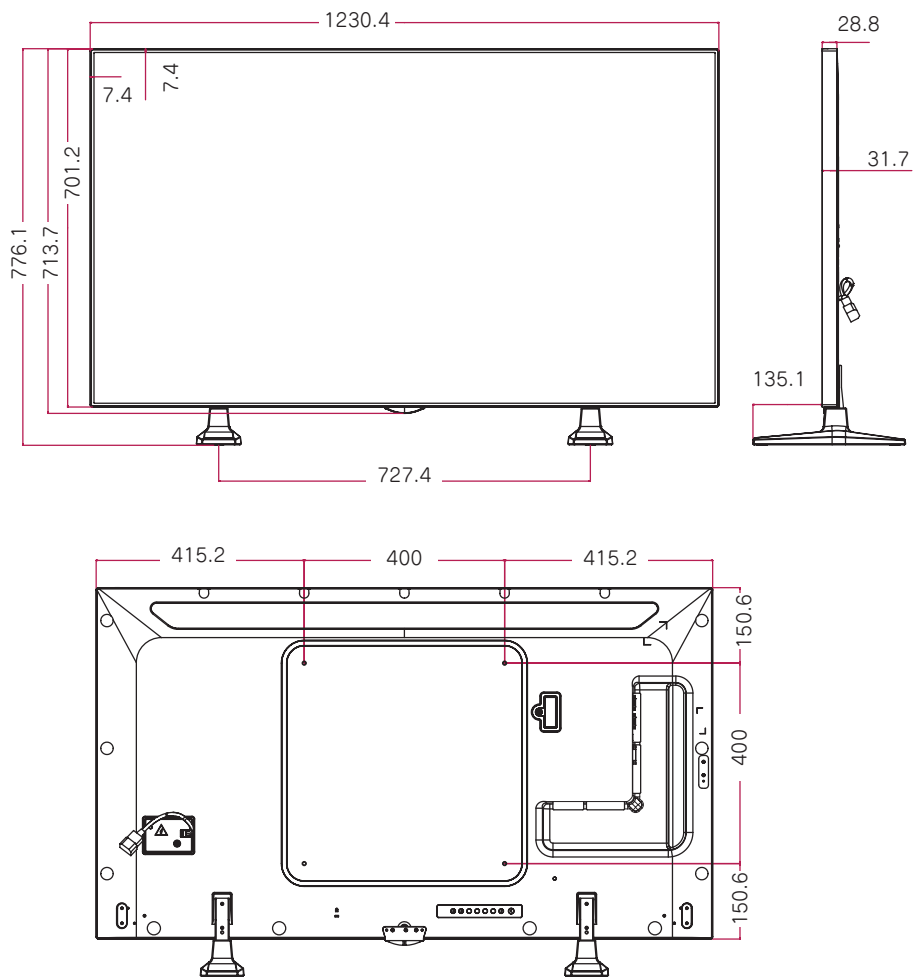
49LS73B

(単位 : mm)



(単位 : mm)

55LS75A 55LS73B



## HDMI(OPS) / DVI-D/ Display

## Port (PC) サポート モード

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 x 480	31.469	59.94
800 x 600	37.879	60.317
1024 x 768	48.363	60
1280 x 720	44.772	59.855
1366 x 768	47.7	60
1280 x 1024	63.981	60.02
1680 x 1050	65.290	59.954
1920 x 1080	67.5	60

## DTVモード

解像度	HDMI(OPS) / DisplayPort (DTV)
480i	x
576i	x
480p	o
576p	o
720p (50 / 60 Hz)	o
1080i (50 / 60 Hz)	o
1080p (50 / 60 Hz)	o

 ヒント

- HDMI(OPS)/DVI-D/DisplayPort入力モードの入力ラベルオプションとして利用可能なPC解像度は640 x 480/60 Hz、1280 x 720/60 Hz、1920 x 1080/60 Hz、DTV解像度は480p、720p、1080pです。

 ヒント

- 垂直周波数：製品ディスプレイで映像を見る場合、蛍光灯のように、画面の映像を毎秒数十回切り替える必要があります。垂直周波数、つまり、リフレッシュ速度は、1秒あたりに映像が表示される回数を表しています。単位はHzです。
- 水平周波数：水平方向の間隔は、1本の横線を描画するためにかかる時間です。1を水平方向の間隔で除算すると、毎秒表示される横線の本数を、水平周波数として表現できます。単位はkHzです。

# IRコード

この機能を使用できないモデルもあります。  
モデルによっては一部のキーコードがサポートされません。

コード (16進)	機能	メモ
08	POWER	R/Cボタン
C4	MONITOR ON	R/Cボタン
C5	MONITOR OFF	R/Cボタン
95	Energy Saving	R/Cボタン
0B	INPUT	R/Cボタン
10	数字キー0	R/Cボタン
11	数字キー1	R/Cボタン
12	数字キー2	R/Cボタン
13	数字キー3	R/Cボタン
14	数字キー4	R/Cボタン
15	数字キー5	R/Cボタン
16	数字キー6	R/Cボタン
17	数字キー7	R/Cボタン
18	数字キー8	R/Cボタン
19	数字キー9	R/Cボタン
02	ボリューム ▲ (+)	R/Cボタン
03	ボリューム ▼ (-)	R/Cボタン
E0	BRIGHTNESS ^ (Page Up)	R/Cボタン
E1	BRIGHTNESS v (Page Down)	R/Cボタン
DC	3D	R/Cボタン
32	1/a/A	R/Cボタン
2F	CLEAR	R/Cボタン
7E	SIMPLINK	R/Cボタン
79	ARC (MARK) (画面サイズ)	R/Cボタン
4D	PSM (映像モード)	R/Cボタン
09	MUTE	R/Cボタン
43	SETTINGS (メニュー)	R/Cボタン
99	AUTO CONFIG (自動画面調整)	R/Cボタン
40	上 (▲)	R/Cボタン
41	下 (▼)	R/Cボタン
06	右 (▶)	R/Cボタン
07	左 (◀)	R/Cボタン
44	OK	R/Cボタン
28	BACK	R/Cボタン



コード (16進)	機能	メモ
7B	TILE	R/Cボタン
5B	EXIT	R/Cボタン
72	ID ON (赤)	R/Cボタン
71	ID OFF (緑)	R/Cボタン
63	黄	R/Cボタン
61	青	R/Cボタン
B1	■	R/Cボタン
B0	▶	R/Cボタン
BA		R/Cボタン
8F	◀	R/Cボタン
8E	▶▶	R/Cボタン
5F	W.BAL	R/Cボタン
3F	S.MENU	R/Cボタン
7C	HOME	R/Cボタン

\* モデルによっては一部のキーコードがサポートされません。

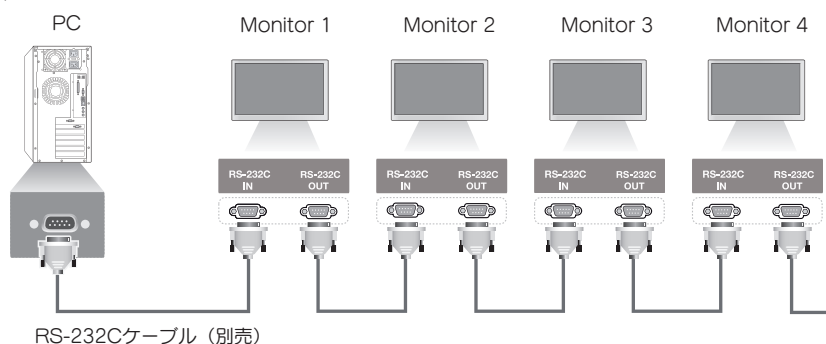
# 複数のモニターを制御するには

この方法を使用して、複数のディスプレイ機器を1台のPCに接続し、操作することができます。メニューでセットID(設定範囲1~1000)を重複がないように設定します。

## ケーブルの接続

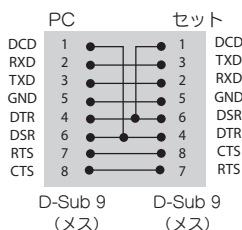
イラストのようにRS-232Cケーブルを接続します。

PCとディスプレイ機器の通信にはRS-232Cプロトコルが使用されます。ディスプレイ機器の電源のオン/オフ、入力ソースの選択、OSDメニューの選択などをPCから操作できます



## RS-232C構成

8線構成 (標準RS-232Cケーブル)



## 通信パラメーター

ボーレート: 9600BPS (ビット/秒)

データ長: 8ビット

パリティビット: なし

ストップビット: 1ビット

フロー制御: なし

通信コード: ASCIIコード

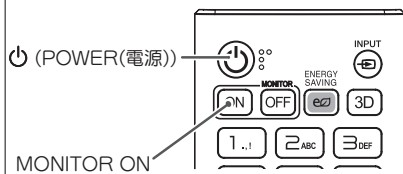
クロス (リバース) ケーブル使用

### ヒント

- 3本の配線で接続している場合 (非標準)、赤外線通信機能のデジジーチェーン接続は使用できません。

### ヒント

- デジジーチェーンを介して接続されたモニター (複数のモニターを制御) のオフとオンを連続して行うと、一部のモニターがオンにならないことがあります。この場合は、POWER (電源) ボタンではなく MONITOR ON ボタンを押すと、それらのモニターをオンにすることができます。



## コマンドリファレンスリスト

		COMMAND (コマンド)		DATA (16進)
		1	2	
01	電源	k	a	00~01
02	入力の選択	x	b	「入力の選択」を参照
03	画面サイズ	k	c	「画面サイズ」を参照
04	映像省エネ設定	j	q	「映像省エネ設定」を参照
05	映像モード	d	x	「映像モード」を参照
06	コントラスト	k	g	00~64
07	明るさ	k	h	00~64
08	画質	k	k	00~32
09	色指定	k	i	00~64
10	色合い	k	j	00~64
11	色温度	x	u	00~64
12	バランス	k	t	00~64
13	サウンドモード	d	y	「サウンドモード」を参照
14	ミュート	k	e	00~01
15	音量コントロール	k	f	00~64
16	時間1 (年/月/日)	f	a	「時間1」を参照
17	時間2 (時/分/秒)	f	x	「時間2」を参照
18	オフタイマーのスケジュール	f	c	00~01
19	オンタイマーのスケジュール	f	b	00~01
20	オフタイマー (繰り返し/時間)	f	e	「オフタイマー」を参照
21	オンタイマー (繰り返し/時間)	f	d	「オンタイマー」を参照
22	オンタイマー入力	f	u	「オンタイマー入力」を参照
23	信号がなければ電源をオフ (15分)	f	g	00~01
24	自動電源オフ (4時間)	m	n	00~01
25	言語	f	i	「言語」を参照
26	リセット	f	k	00、02
27	現在温度	d	n	FF
28	キー	m	c	「キー」を参照
29	経過時間を返す	d	l	FF
30	製品のシリアル番号	f	y	FF
31	ソフトウェアバージョン	f	z	FF
32	ホワイトバランス赤ゲイン	j	m	00~FE
33	ホワイトバランス緑ゲイン	j	n	00~FE

		COMMAND (コマンド)		DATA (16進)
		1	2	
34	ホワイトバランス青ゲイン	j	o	00~FE
35	ホワイトバランス赤オフセット	s	x	00~7F
36	ホワイトバランス緑オフセット	s	y	00~7F
37	ホワイトバランス青オフセット	s	z	00~7F
38	バックライト	m	g	00~64
39	映像オフ	k	d	00~01
40	タイルモード	d	d	00~FF
41	タイルモードの確認	d	z	FF
42	タイルID	d	i	「タイルID」を参照
43	ナチュラルモード	d	j	00~01
44	DPM選択	f	j	00~07
45	リモコン/ローカルキーロック	k	m	00~01
46	パワーオンディレイ	f	h	00~FA
47	フェイルオーバー選択	m	i	00~02
48	フェイルオーバー入力の選択	m	j	「フェイルオーバー入力の選択」を参照
49	IRの操作	t	p	00~02
50	ローカルキーの操作	t	o	00~02
51	ステータスの確認	s	v	「ステータスの確認」を参照
52	画面の確認	t	z	00~01
53	スピーカー	d	v	00~01

\* 注：USBデバイスまたは内部/外部メモリからメディアファイルを再生している場合は、電源およびキーコマンドだけを使用できます。電源およびキーコマンド以外のコマンドはNGとして扱われます。モデルによっては、一部のコマンドがサポートされていない場合があります。

## 送受信プロトコル

### Transmission

[Command1][Command2][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

- \* [Command1] : セットを制御する1番目のコマンド。
- \* [Command2] : セットを制御する2番目のコマンド。
- \* [Set ID] : 制御するセットの選択に使用されます。 OSDメニューの[設定]で、一意のセットIDを1から1000 (01H~3E8H) までの各セットに割り当てられます。  
セットIDに「00H」を選択すると、すべての接続されたモニターを同時に制御できます。
- \* [Data] : コマンドデータを伝送します。  
コマンドによってはデータカウントが増える場合があります。
- \* [Cr] : キャリッジリターン。 ASCIIコード「0x0D」。
- \* [ ] : ASCIIコードのスペース「0x20」。

### Acknowledgement

[Command2][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

- \* 製品がデータを正常に受信すると、上記の形式でアクノリッジメント (ACK) を送信します。 データが読み取りモードの場合、現在の状態を表示するデータを示します。 データが書き込みモードの場合、単純にPCから送信されたデータを示します。
- \* コマンドがセットID「00」 (=0x00) で送信された場合、データはすべてのモニターセットに反映され、すべてのモニターセットがアクノリッジメント (ACK) を送信します。
- \* データ値「FF」を制御モードでRS-232Cから送信すると、機能の現在の設定値をチェックできます (ただし一部の機能に限定)。
- \* モデルによっては一部のコマンドがサポートされません。

## 01. 電源 (Command: k a)

セットの電源のオン/オフを制御します。

Transmission

[k][a][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00 : オフ

01 : オン

Acknowledgement

[a][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

\* Acknowledgement (アクノリッジメント) 信号は、モニターの電源が完全にオンになったときのみ適切に返されます。

\* Transmission (伝送) 信号とAcknowledgement (アクノリッジメント) 信号の間に遅延が発生することがあります。

## 02. 入力を選択 (Command: x b)

入力信号を選択します。

Transmission

[x][b][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 70 : DVI-D (PC)

80 : DVI-D (DTV)

90 : HDMI1 (DTV)

A0 : HDMI1 (PC)

91 : HDMI2 / OPS (DTV)

A1 : HDMI2 / OPS (PC)

C0 : DisplayPort (DTV)

D0 : DisplayPort (PC)

Acknowledgement

[b][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

\* モデルによっては、一部の入力信号がサポートされていない場合があります。

## 03. 画面サイズ (Command: k c)

画面サイズを調整します。

Transmission

[k][c][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 01 : 4:3

02 : 16:9

04 : ズーム

06 : プログラム

09 : ジャストスキャン (720p以上)

10~1F : シネマズーム1~16

\* 使用可能なデータタイプは、入力信号によって異なります。詳細については、取扱説明書の画面サイズのセクションを参照してください。

\* 画面サイズは、モデルの入力設定によって異なる場合があります。

Acknowledgement

[c][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

## 04. 省エネモード (Command: j q)

映像省エネ設定を設定します。

Transmission

[j][q][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00 : オフ

01 : 最小

02 : 中

03 : 最大

04 : 自動

05 : スクリーン オフ

Acknowledgement

[q][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

\*\* モデルによっては、サポートされていない場合があります。

## 05. 映像モード (Command: d x)

映像モードを選択します。

Transmission

[d][x][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00 : 鮮明な映像

01 : 標準

02 : シネマ

03 : スポーツ

04 : ゲーム

05 : カスタムモード1

06 : カスタムモード2

08 : APS

Acknowledgement

[x][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

## 06. コントラスト (Command: k g)

画面のコントラストを調整します。

Transmission

[k][g][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00~64 : コントラスト0~100

Acknowledgement

[g][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

## 07. 明るさ (Command: k h)

画面の明るさを調整します。

Transmission

[k][h][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00~64 : 明るさ0~100

Acknowledgement

[h][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

## 10. 色相 (Command: k j)

画面の色合いを調整します。

Transmission

[k][j][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00~64 : 色合いの赤50~緑50

Acknowledgement

[j][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

## 08. 鮮明度 (Command: k k)

画面のシャープネスを調整します。

Transmission

[k][k][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00~32 : シャープネス0~50

Acknowledgement

[k][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

## 11. 色温度 (Command: x u)

画面の色温度を調整します。

Transmission

[x][u][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00~64 : 暖色50~冷色50

Acknowledgement

[u][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

## 09. 色の濃さ (Command: k i)

画面の色を調整します。

Transmission

[k][i][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00~64 : カラー0~100

Acknowledgement

[i][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

## 12. サウンドバランス (Command: k t)

サウンドバランスを調整します。

Transmission

[k][t][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00~64 : 左50~右50

Acknowledgement

[t][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

13. サウンドモード (Command: d y)  
サウンドモードを選択します。

```
Transmission
[d][y][ ][Set ID][ ][Data][Cr]
```

Data 01 : スタANDARD  
02 : 音楽  
03 : 映画  
04 : スポーツ  
05 : ゲーム  
07 : ニュース

```
Acknowledgement
[y][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]
```

14. 音量ミュート (Command: k e)  
サウンドをミュート/ミュート解除します。

```
Transmission
[k][e][ ][Set ID][ ][Data][Cr]
```

Data 00 : ミュート  
01 : ミュート解除

```
Acknowledgement
[e][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]
```

15. Volume Control (音量制御) (Command: k f)  
再生音量を調整します。

```
Transmission
[k][f][ ][Set ID][ ][Data][Cr]
```

Data 00~64 : 音量0~100

```
Acknowledgement
[f][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]
```

16. 時間1 (年/月/日) (Command: f a)  
時間1 (年/月/日) の値を調整します。

```
Transmission
[f][a][ ][Set ID][ ][Data1][ ][Data2][ ][Data3]
[Cr]
```

Data1 04~1B : 2014年~2037年  
Data2 01~0C : 1月~12月  
Data3 01~1F : 1日~31日

\* "fa [Set ID] ff"を入力すると、時間1 (年/月/日) の設定が表示されます。

```
Acknowledgement
[a][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2][Data3]
[x]
```

17. 時間2 (時/分/秒) (Command: f x)  
時間2 (時/分/秒) の値を調整します。

```
Transmission
[f][x][ ][Set ID][ ][Data1][ ][Data2][ ][Data3]
[Cr]
```

Data1 00~17 : 00~23時  
Data2 00~3B : 00~59分  
Data3 00~3B : 00~59秒

\* "fx [Set ID] ff"を入力すると、時間2 (時/分/秒) の設定が表示されます。

\*\* この機能は、時間1 (年/月/日) が設定されている場合のみ使用できます。

```
Acknowledgement
[x][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2][Data3]
[x]
```

18. オフタイマーのスケジュール (Command: f c)  
オフタイマーのスケジュールを有効/無効にします。

```
Transmission
[f][c][ ][Set ID][ ][Data][Cr]
```

Data 00 : オフ  
01 : オン

```
Acknowledgement
[c][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]
```

19. オンタイマーのスケジュール (Command: f b)  
オンタイマーのスケジュールを有効/無効にします。

```
Transmission
[f][b][ ][Set ID][ ][Data][Cr]
```

Data 00 : オフ  
01 : オン

```
Acknowledgement
[b][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]
```



20. オフタイマー（繰り返し/時間）（Command: f e）  
 オフタイマー（繰り返し/時間）設定を構成します。

```
Transmission
[f][e][ ][Set ID][ ][Data1][ ][Data2][ ][Data3]
[Cr]
```

Data1

1. f1h~f7h（データ読み取り）
  - F1：1番目のオフタイマーデータを読み取る
  - F2：2番目のオフタイマーデータを読み取る
  - F3：3番目のオフタイマーデータを読み取る
  - F4：4番目のオフタイマーデータを読み取る
  - F5：5番目のオフタイマーデータを読み取る
  - F6：6番目のオフタイマーデータを読み取る
  - F7：7番目のオフタイマーデータを読み取る
2. e1h~e7h（インデックス1個を削除）、e0h（すべてのインデックスを削除）
  - E0：すべてのオフタイマー設定を消去
  - E1：1番目のオフタイマー設定を消去
  - E2：2番目のオフタイマー設定を消去
  - E3：3番目のオフタイマー設定を消去
  - E4：4番目のオフタイマー設定を消去
  - E5：5番目のオフタイマー設定を消去
  - E6：6番目のオフタイマー設定を消去
  - E7：7番目のオフタイマー設定を消去
3. 01h~0Ch（オフタイマーの曜日を設定）
  - 01：1回
  - 02. 毎日
  - 03：月曜日～金曜日
  - 04：月曜日～土曜日
  - 05：土曜日～日曜日
  - 06. 毎週日曜日
  - 07. 毎週月曜日
  - 08. 毎週火曜日
  - 09. 毎週水曜日
  - 0A. 毎週木曜日
  - 0B. 毎週金曜日
  - 0C. 毎週土曜日

Data2 00~17：00時間~23時間

Data3 00~3B：00分~59分

\* オフタイマースケジュールリストを読み取る、または削除するには、[Data2][Data3]がFFHに設定されている必要があります。

- 例1：fe 01 f1 ff ff - オフタイマーの1番目のインデックスデータを読み取ります。
- 例2：fe 01 e1 ff ff - オフタイマーの1番目のインデックスデータを削除します。
- 例3：fe 01 04 02 03 - オフタイマーを月曜日～土曜日の02:03にセットします。

\* この機能は、時間1（年/月/日）と時間2（時/分/秒）が設定されている場合のみ使用可能です。

```
Acknowledgement
[e][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2][Data3]
[X]
```

21. オンタイマー（繰り返し/時間）（Command: f d）  
 オンタイマー（繰り返し/時間）設定を構成します。

```
Transmission
[f][d][ ][Set ID][ ][Data1][ ][Data2][ ][Data3]
[Cr]
```

Data1

1. f1h~f7h（データ読み取り）
  - F1：1番目のオンタイマーデータを読み取る
  - F2：2番目のオンタイマーデータを読み取る
  - F3：3番目のオンタイマーデータを読み取る
  - F4：4番目のオンタイマーデータを読み取る
  - F5：5番目のオンタイマーデータを読み取る
  - F6：6番目のオンタイマーデータを読み取る
  - F7：7番目のオンタイマーデータを読み取る
2. e1h~e7h（インデックス1個を削除）、e0h（すべてのインデックスを削除）
  - E0：すべてのオンタイマー設定を消去
  - E1：1番目のオンタイマー設定を消去
  - E2：2番目のオンタイマー設定を消去
  - E3：3番目のオンタイマー設定を消去
  - E4：4番目のオンタイマー設定を消去
  - E5：5番目のオンタイマー設定を消去
  - E6：6番目のオンタイマー設定を消去
  - E7：7番目のオンタイマー設定を消去
3. 01h~0Ch（オンタイマーの曜日を設定）
  - 01：1回
  - 02. 毎日
  - 03：月曜日～金曜日
  - 04：月曜日～土曜日
  - 05：土曜日～日曜日
  - 06. 毎週日曜日
  - 07. 毎週月曜日
  - 08. 毎週火曜日
  - 09. 毎週水曜日
  - 0A. 毎週木曜日
  - 0B. 毎週金曜日
  - 0C. 毎週土曜日

Data2 00~17：00時間~23時間

Data3 00~3B：00分~59分

\* オンタイマースケジュールリストを読み取る、または削除するには、[Data2][Data3]がFFHに設定されている必要があります。

- 例1：fd 01 f1 ff ff - オンタイマーの1番目のインデックスデータを読み取ります。
- 例2：fd 01 e1 ff ff - オンタイマーの1番目のインデックスデータを削除します。
- 例3：fd 01 04 02 03 - オンタイマーを月曜日～土曜日の02:03にセットします。

\* この機能は、時間1（年/月/日）と時間2（時/分/秒）が設定されている場合のみ使用可能です。

```
Acknowledgement
[d][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2][Data3]
[X]
```

22. オンタイマー入力 (Command: f u)  
現在のオンタイマー設定用に外部入力を選択し、新しいスケジュールを追加します。

```
Transmission
[f][u][ ][Set ID][ ][Data1][Cr]
[f][u][ ][Set ID][ ][Data1][Data2][Cr]
```

Data (スケジュール追加)  
70 : DVI-D  
90 : HDMI1 (DTV)  
91 : HDMI2 / OPS (DTV)  
C0 : Display Port (DTV)

Data1 (読み取りスケジュール)  
1. f1h~f7h (データ読み取り)  
F1 : 1番目のスケジュール入力を選択  
F2 : 2番目のスケジュール入力を選択  
F3 : 3番目のスケジュール入力を選択  
F4 : 4番目のスケジュール入力を選択  
F5 : 5番目のスケジュール入力を選択  
F6 : 6番目のスケジュール入力を選択  
F7 : 7番目のスケジュール入力を選択

Data2 (読み取りスケジュール)  
FF

- \* スケジュール入力を読み取るには、[Data2]にFFと入力します。  
スケジュールデータを読み取ろうとしたときに、[Data1]のスケジュールがない場合、テキスト「NG」が表示され、操作は失敗します。  
(例1 : fu 01 90 - 各スケジュール入力を1行ずつ下げ、1番目のスケジュール入力をHDMIモードで保存します。)  
(例2 : fu 01 f1 ff - 1番目のスケジュール入力を読み取ります。)
- \* この機能は、1 (年/月/日)、2 (時/分/秒)、オンタイマー (繰り返しモード/時間) が設定されている場合のみサポートされます。
- \*\* モデルによっては、サポートされていない場合があります。

```
Acknowledgement
[u][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]
[u][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2][x]
```

23. 信号がなければ電源をオフ (15分) (Command: f g)  
自動スタンバイ設定を構成します。

```
Transmission
[f][g][ ][Set ID][ ][Data][Cr]
```

Data 00 : オフ  
01 : オン

```
Acknowledgement
[g][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]
```

24. 自動電源オフ (4時間) (Command: m n)  
自動オフ設定を構成します。

```
Transmission
[m][n][ ][Set ID][ ][Data][Cr]
```

Data 00 : オフ  
01 : 4時間

```
Acknowledgement
[n][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]
```

25. 言語 (Command: f i)  
OSD言語を設定します。

```
Transmission
[f][i][ ][Set ID][ ][Data][Cr]
```

Data 00 : チェコ語  
01 : デンマーク語  
02 : ドイツ語  
03 : 英語  
04 : スペイン語 (ヨーロッパ)  
05 : ギリシャ語  
06 : フランス語  
07 : イタリア語  
08 : オランダ語  
09 : ノルウェー語  
0A : ポルトガル語  
0B : ポルトガル語 (ブラジル)  
0C : ロシア語  
0D : フィンランド語  
0E : スウェーデン語  
0F : 韓国語  
10 : 中国語 (広東語)  
11 : 日本語  
12 : 中国語 (標準)

```
Acknowledgement
[i][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]
```

## 26. リセット (Command: f k)

映像および工場出荷状態へリセット機能を実行します。

## Transmission

[f][k][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00 : 初期化  
02 : 初期化 (工場出荷状態へリセット)

## Acknowledgement

[k][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

## 27. 現在の温度 (Command: d n)

内部温度を確認します。

## Transmission

[d][n][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data FF : ステータスを確認

## Acknowledgement

[n][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

\* 温度は16進数値として表示されます。

## 28. キー (Command: m c)

IRリモートキーコードを送信します。

## Transmission

[m][c][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data IR\_KEY\_CODE

## Acknowledgement

[c][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

キーコードについては、「IRコード」を参照のこと

\* モデルによっては一部のキーコードがサポートされませ

ぬ。

29. 経過時間を返す (Command: d l)  
経過時間を確認します。

## Transmission

[d][l][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data FF : ステータスの読み取り

## Acknowledgement

[l][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

\* 受信したデータは16進数値として表示されます。

## 30. 製品のシリアル番号 (Command: f y)

製品のシリアル番号を確認します。

## Transmission

[f][y][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data FF : 製品のシリアル番号を確認

## Acknowledgement

[y][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

\* データはASCIIコードです。

## 31. ソフトウェアバージョン (Command: f z)

ソフトウェアバージョンを確認します。

## Transmission

[f][z][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data FF : ソフトウェアバージョンを確認

## Acknowledgement

[z][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

32. ホワイトバランス赤ゲイン (Command: j m)  
ホワイトバランス赤ゲインの値を調整します。

Transmission  
[j][m][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00~FE: 赤ゲイン0~254  
FF: 赤ゲインの値を確認

Acknowledgement  
[m][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

33. ホワイトバランス緑ゲイン (Command: j n)  
ホワイトバランス緑ゲインの値を調整します。

Transmission  
[j][n][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00~FE: 緑ゲイン0~254  
FF: 緑ゲインの値を確認

Acknowledgement  
[n][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

34. ホワイトバランス青ゲイン (Command: j o)  
ホワイトバランス青ゲインの値を調整します。

Transmission  
[j][o][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00~FE: 青ゲイン0~254  
FF: 青ゲインの値を調整します。

Acknowledgement  
[o][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

35. ホワイトバランス赤オフセット (Command: s x)  
ホワイトバランス赤オフセットの値を調整します。

Transmission  
[s][x][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00~7F: 赤オフセット0~127  
FF: 赤オフセット値の確認

Acknowledgement  
[x][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

36. ホワイトバランス緑オフセット (Command: s y)  
ホワイトバランス緑オフセットの値を調整します。

Transmission  
[s][y][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00~7F: 緑オフセット0~127  
FF: 緑オフセット値の確認

Acknowledgement  
[y][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

37. ホワイトバランス青オフセット (Command: s z)  
ホワイトバランス青オフセットの値を調整します。

Transmission  
[s][z][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00~7F: 青オフセット0~127  
FF: 青オフセット値の確認

Acknowledgement  
[z][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

38. バックライト (Command: : m g)  
バックライトの明るさを調整します。

Transmission  
[m][g][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00~64 : バックライト0~100  
Acknowledgement

[g][ ][set ID][ ][OK/NG][Data][x]

39. 映像オフ (Command: k d)  
映像のオンとオフを切り替えます。

Transmission  
[k][d][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00 : 映像をオンにします。  
01 : 映像をオフにします。

Acknowledgement  
[d][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

40. タイルモード (Command: d d)  
タイルモードを設定し、タイルの行と列の値を設定します。

Transmission  
[d][d][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00~FF : 第1バイト - タイル列  
第2バイト - タイル行

\* 00、01、10、11はタイルモードがオフであることを意味しています。

Acknowledgement  
[d][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

41. タイルモードの確認 (Command: d z)  
タイルモードを確認します。

Transmission  
[d][z][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data FF : タイルモードの確認

Acknowledgement  
[z][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2][Data3][x]

Data1 00 : タイルモードオフ  
01 : タイルモードオン  
Data2 00~0F : タイル列  
Data3 00~0F : タイル行

42. タイルID (Command: d i)  
製品のタイルID値を設定します。

Transmission  
[d][i][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 01~E1 : タイルID 01~225\*\*  
FF : タイルIDの確認

\*\* データ値は行 × 列の値を超えることはできません。

Acknowledgement  
[i][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

\* 行 × 列の値を超えるデータ値が入力されると (0xFFを除く)、ACKはNGになります。

43. ナチュラルモード (タイルモード時) (Command: d j)

映像を自然に表示するとき、モニター間の隙間に通常は表示される映像の部分が省略されます。

Transmission  
[d][j][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00 : オフ  
01 : オン

Acknowledgement  
[j][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

## 44. DPM選択 (Command: f j)

DPM (ディスプレイ電源管理) 機能を設定します。

Transmission

[f][j][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00 : オフ  
 01 : 5秒  
 02 : 10秒  
 03 : 15秒  
 04 : 1分  
 05 : 3分  
 06 : 5分  
 07 : 10分

Acknowledgement

[j][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

## 45. リモコン/ローカルキーのロック (Command: k m)

リモコン/ローカルキー (前面) のロックを調整します。

Transmission

[k][m][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00 : オフ (ロックオフ)  
 01 : オン (ロックオン)

\* リモコンと前面のキーがスタンバイモードでロックされると、リモコンまたは前面の電源ボタンを使用して電源をオンに切り替えることができなくなります。

Acknowledgement

[m][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

## 46. パワーオン遅延 (Command: f h)

電源をオンにしたときの遅延時間を設定します (秒単位)。

Transmission

[f][h][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00~FA : 最小0~最大250 (秒)

Acknowledgement

[h][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

## 47. フェイルオーバーの選択 (Command: m i)

自動切り替えの入力モードを選択します。

Transmission

[m][i][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00 : オフ  
 01 : 自動  
 02 : 手動

Acknowledgement

[i][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

## 48. フェイルオーバー入力の選択 (Command: m j)

自動切り替えの入力元を選択します。

\* このコマンドは、フェイルオーバー (自動) モードが [カスタム] に設定されている場合のみ使用できます。

Transmission

[m][j][ ][Set ID][ ][Data1][ ][Data2][ ][Data3][ ][Data4][Cr]

Data 1~4 (入力優先順位 : 1~4)  
 70 : DVI-D  
 90 : HDMI1  
 91 : HDMI2 / OPS  
 C0 : DisplayPort

Acknowledgement

[j][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2][Data3][Data4][x]

Data 1~4 (入力優先順位 : 1~4)  
 70 : DVI-D  
 90 : HDMI1  
 91 : HDMI2 / OPS  
 C0 : DisplayPort

## 49. IRの操作 (Command: t p)

製品のIRの操作を設定します。

Transmission

[t][p][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00 : すべてのキーをロック解除  
 01 : 電源キーを除くすべてのキーをロック  
 02 : すべてのキーをロック

Acknowledgement

[x][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

50. ローカルキーの操作 (Command: t o)  
製品のローカルキーの操作を設定します。

```
Transmission
[t][o][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00 : すべてのキーをロック解除
      01 : 電源キーを除くすべてのキーをロック
      02 : すべてのキーをロック

Acknowledgement
[o][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]
```

51. ステータス (Command: s v)  
製品の現在の信号のステータスを確認します。

```
Transmission
[s][v][ ][Set ID][ ][Data][ ][FF][Cr]

Data 02 : 信号の有無を確認
      10 : RGBの感知、OK/NG (画面の確認)

Acknowledgement
[v][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][Data1][x]

Data : 02 (信号を検出時)
Data1 00 : 信号なし
       01 : 信号あり

Data : 10 (画面の確認)
Data1 00 : 画面の確認結果がNG
       07 : 画面の確認結果がOK
```

\* 画面の確認がオフに設定されている場合はNGとして扱われます。

52. 画面の確認 (Command: t z)  
画面の確認を設定します。

```
Transmission
[t][z][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00 : オフ
      01 : オン

Acknowledgement
[z][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]
```

53. スピーカー (Command: d v)  
スピーカー機能を設定します。

```
Transmission
[d][v][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00 : オフ
      01 : オン

Acknowledgement
[v][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]
```

54. サマータイム (コマンド: s d)  
サマータイム機能を設定します。

```
Transmission
[s][d][ ][Set ID][ ][Data1][ ][Data2][ ][Data3][ ][Data4][ ][Data5][Cr]

データ 00 : オフ (Data2~5 : FFH)
       01 : Start Time (開始時刻)
       02 : End Time (終了時刻)

データ2 01~0C : 1~12月
データ3 01~06 : 第1週~第6週
* [データ3]の最大数は日付によって異なります。
  データ4 00~06 (日曜~土曜)
  データ5 00~17 : 00~23時間
* 開始時刻と終了時刻を読み取るには、[データ2]
  ~[データ5]のFFHを入力してください。
  (例1 : sd 01 01 ff ff ff ff - 開始時刻を確認
  例2 : sd 01 02 ff ff ff ff - 終了時刻を確認)
* この機能は、時刻1 (年/月/日) および時刻2
  (時/分/秒) が設定されている場合のみサポート
  されます。

Acknowledgement
[d][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2][Data3][ ][Data4][Data5][x]
```

\*\* モデルによっては、サポートされていない場合があります。



ENERGY STAR® is a set of power-saving guidelines issued by the U.S. Environmental Protection Agency (EPA).



As an ENERGY STAR® Partner LGE U. S. A., Inc. has determined that this product meets the ENERGY STAR® guidelines for energy efficiency. Refer to ENERGY STAR.gov for more information on the ENERGY STAR® program.

製品を使用する前に必ず安全上のご注意をお読みください。  
取扱説明書（CD）は後で参照できるようにわかりやすい場所に保管してください。  
製品のモデル名と製造番号は製品背面または側面にあります。保守が必要になった場合に備えて下記にご記入ください。

モデル名 \_\_\_\_\_

製造番号 \_\_\_\_\_

本製品に搭載されている GPL、LGPL、MPL、およびその他のオープンソースのライセンスのもとで開発されたソースコードを取得するには、<http://opensource.lge.com>をご参照ください。

ソースコードをはじめ、該当するすべてのライセンスの内容や著作権の表示、保障責任がないとい

う表示をダウンロードできます。本製品をお買い求めから3年以内に、本製品に搭載されているソフトウェアのオープンソースコードをEメール ([opensource@lge.com](mailto:opensource@lge.com))にてお求めになる場合、媒体の費用や送料など、必要な最小限の費用をお支払いいただきながら、CD-ROMにてご提供いたします。

本機はビジネス用(A級)の電磁波適合機器です。販売者またはユーザーはこの点に注意し、家庭以外の場所で使用してください。

この機器の電源をオンまたはオフにすると、通常、一時的なノイズが発生します。